



沖縄県薬剤師会報

No.329. 2025(令和7年) 8・9・10月号



沖縄県薬剤師会

／目次／

表彰	令和7年度沖縄県薬剤師会貢献賞 受賞 川平 真央 (1)
学術ニュース	「CEN Case Reports (Clinical and Experimental Nephrology Case Reports)」に 新江裕貴先生の症例報告が掲載されました。 (1)
熟年集い	第15回熟年の集い 宮本 直樹 (2)
保健・福祉	なごみ会主催第12回県民健康フェア 金城 耕晴・大槻 美佳 (6)
学術研修	令和7年度新任・新人薬剤師研修会 川上 雄一朗 (9)
実務実習	令和7年度第Ⅱ期薬学生実務実習 宮本 直樹 (12)
地区だより	一般社団法人那覇地区薬剤師会第12回定期総会 久場川 さえ子 (15)
月例相談会	科学体験イベント「ストームグラス工作教室」開催 黒島 新 (17)
女性薬部会	令和6年度八重山地区薬剤師会総会 荒谷 敏巳 (19)
行政部会	第202回健康とおくすり相談会 篠島 知 (20)
卸薬部会	令和7年度女性薬剤師部会総会 金城 みどり (21)
D-I	令和7年度女性薬剤師部会研修会 諸見里 めぐみ (22)
試験検査センター	令和6年度行政薬剤師部会総会等 喜屋武 千早 (24)
薬草学	2025年度 卸勤務薬剤師部会総会 (日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄支部) 鈴鹿 玲子 (25)
リレー隨筆	薬事情報おきなわNo. 286 薬事情報センター (27)
災害対策	試験検査センターからのお知らせ (39)
薬連だより	身近な薬草を知ろう 第71回暮らしの中の薬草学 ショウロウクサギ 犬俣 イソ (40)
転載記事	せっかくだから…が重なって 新垣 紀子 (42)
	災害時における薬剤師の役割 その4 災害への備え、薬局でできること 坂本 政文 (44)
	オレンジ日記「感謝」「レボノルゲストレル製剤のスイッチ化」「女性局長としての総裁選挙」 本田 顕子 (49)
	政幸だより「骨太の方針2025」「原薬向上を視察」「病院薬剤師偏在解消への取り組み」 神谷 政幸 (52)
	「熟年の集い」楽しむ 県薬剤師会70歳以上の50人 (5)
	17日に県民健康フェア (8)
	無料でエコーや骨密度測定 17日宜野湾で健康フェア (8)
	沖縄の病薬確保へ、昭和薬科大が給付金制度創設 最大414万円、県と覚書締結も 糸満 親子30人薬剤師が指南 (16)
	糸満 親子30人薬剤師が指南 (18)
	薬剤師の仕事に挑戦 那覇 琉球光和が体験会 (26)
	卒煙成功者24年度43.4% 協会けんぽなど3者連携 (46)
	職場巻き込み4割卒煙 (46)
	沖縄県難病相談支援センター難病情報誌「アンビシャス」連載記事 宮里威一郎・白坂 亮 (47)
	浦島太郎な父 大城 尚美 (69)
日薬通達	令和6年度医薬品販売制度実態把握調査結果について (55)
会務報告	令和7年7月～9月分 (65)
編集後記 (70)
会員作品	誌上ギャラリー (裏表紙) について (71)
お知らせ	会報原稿募集のご案内 広報委員会 (5)
	地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！ (19)
	沖縄県薬剤師会Facebookをご覧ください！ (23)
	学会認定薬剤師取得を目指す会員の皆様へ 単位取得に係る受講費および旅費を助成します！ (72)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について (71)
計報	新垣美恵子先生、ご冥福をお祈り申し上げます。 (71)

· 紙 表 ·

「崇元寺」photo by 伊集 智英 (くはら薬局)

題字：豊平峰雲

令和7年度 沖縄県薬剤師会貢献賞 受賞



石原 英子先生 金城 可代子先生 具志堅 優子先生
玉城 幸輝先生 玉城 克治先生
おめでとうございます

沖縄県薬剤師会貢献賞は、75歳から79歳の会員歴40年以上の先生へ長年のご尽力とご功績を称え贈られる賞です。

被表彰者への賞状の授与は、毎年度1回、沖縄県薬剤師会が開催する熟年の集い又は総会懇親会にて執り行われています。(但し、日本薬剤師会賞、日本薬剤師会功労賞、日本薬剤師会有功賞を受けた会員は非対象)

(文：事務局 川平真央)

学術ニュース

「CEN Case Reports(Clinical and Experimental Nephrology Case Reports)」に 新江裕貴先生の症例報告が掲載されました。

会員の新江裕貴先生が第一著者として執筆を担当した症例報告が国際的な医学誌「CEN Case Reports(Clinical and Experimental Nephrology Case Reports)」に掲載されました。ご興味のある方は、下記URLからご覧ください。

論文タイトル

Sustained eGFR Improvement after Dapagliflozin in a Patient with Antiretroviral Therapy-Related Chronic Kidney Disease

著者

新江 裕貴 (ひが薬局 与那城店)
星野 慎一 (沖縄県立北部病院)
諸見 奈緒 (沖縄県立北部病院薬局)
徳嶺 光市 (沖縄県立中部病院)
古波藏 健太郎 (琉球大学病院)

掲載日

2025年8月 (オンライン)

URL

<https://link.springer.com/article/10.1007/s13730-025-01024-y>



熟年の集い

第15回熟年の集い

日時：令和7年8月31日（日）12:00～15:00

会場：ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 首里の間

＜次第＞

- 開会のことば
- 熟年の集い代表あいさつ
- カリー音頭
- 出席者紹介
- 沖縄県薬剤師会と「熟年の集い」のあゆみ
NHK沖縄放送「89歳の薬剤師 キャリア最後の日々」上映
- 「熟年の集い」への思い
- 日本薬剤師会有功賞伝達表彰
- 特別余興『川柳ありんくりん』
- 閉会のことば
- 記念撮影

司会：広報委員会
会長 宮本直樹
前濱朋子
渡嘉敷見
太田節子

崎山信子
宮城義昇
広報委員会委員長 宮城敦子

去った8月31(日)沖縄県薬剤師会 第15回熟年の集いが開催された。

「熟年の集い」は70歳以上の正会員を対象とし、その長年の功績・功労に感謝の意を込めて広報委員会が主催して行われており、平成19年に第1回が開催されて以来、コロナ禍の4年間を除き毎年開催されている。

第15回となる今回は33名の会員が参加された。まず初めに物故会員への黙とうが捧げられ、前濱会長から開会のことばとともに、「来年で創立100周年を迎える沖縄県薬剤師会では、記念式典および祝賀会を予定していますので是非ご参加下さい」との呼びかけがあった。続いて、渡嘉敷見先生の熟年の集い代表あいさつ、吉田久子先生のカリー音頭で会場は一気に、和やかな雰囲気になった。

出席者紹介では自己紹介に加えて近況報告など各自で一言を添えられる形で行われ、思い出話にも花が咲き、活気あふれる時間となった。参加会員の紹介の後、前濱会長による役員の紹介、宮城委員長による広報委員紹介、大城事務局長による事務局員の紹介が行われた。

会場スクリーンにて“沖縄県薬剤師会と「熟年の集い」のあゆみ”、続いて新垣正次先生

にスポットが当てられた“NHK沖縄放送「89歳の薬剤師キャリア最後の日々」”が放映された。映像を懐かしむ声や当時の記憶を思い起こして、会話が弾む光景があちらこちらで見受けられた。

崎山信子先生による「熟年の集い」への思いの中では、この会が発足した経緯や歴史などが語られた。

その後、日本薬剤師会有功賞の伝達表彰が行われた。

特別余興として宮城義昇氏をゲストとしてお迎えし、「川柳ありんくりん」が披露された。相棒のゴン太くんとともに川柳をテーマとした腹話術による軽妙な掛け合いの漫談や、奥さまやご家族との共演による高齢者あるあるをテーマとしたクスッとする川柳などが披露され、会場は笑い声に包まれた。

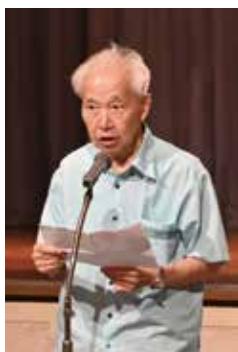
多数の参加者の笑顔の中、宮城委員長による閉会の言葉をもってお開きとなった。

来年は沖縄県薬剤師会100周年と記念の年となるので、多くの先生方に今まで以上に楽しんで頂けるよう、広報委員会として新しい企画や演出なども考えていきたいと思う。

（報告：広報委員会 宮本直樹）



開会のことば
前濱朋子会長



熟年の集い代表あいさつ
渡嘉敷見氏



カリーチ頭
太田節子氏



「熟年の集い」への思い
崎山信子氏



閉会のことば
広報委員会
宮城敦子 委員長

日本薬剤師会有功賞伝達表彰



令和7年度の日本薬剤師会有功賞を受賞した
大井雅江氏（右）

おなは薬局の小那霸幸子氏から
水彩画作品が寄贈された

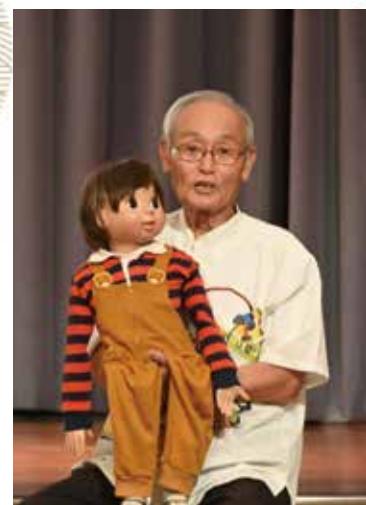


ジャンケンゲームで勝ち取った
江夏京子監事と城間盛光氏

特別余興 「川柳ありんくりん」



宮城義昇氏のご家族も出演された



宮城義昇氏

スナップ写真



[出席熟年会員]

勇士士子俱 里里下田元
美博久愛 山山山吉義 (敬称略、五十音順)

熟年の集い

当日の様子は沖縄タイムスでも紹介されました。

転載記事

沖縄タイムス 令和7年9月20日(土)掲載

【那覇】県議会議員会（前瀬朋子会長）の第15回「熟年の集い」が8月3日、那覇市内のホテルで開かれた。写真。会員50人が参加し、昼食を共にしながら口頭の活動や日々の生活の様子に話の花を咲かせた。

前瀬会長は「来年は設立10周年を迎える節目の年。会員や諸先輩の協力で式典と祝賀行事が成功裏に開かれる」とを期待する」とあいさつした。熟年の集い代表の渡邉敷見さんが「久しぶりの会合で会話を弾む。有意義な集いになるように」と呼びかけた。

慶應術士の宮城義昇さんが主宰するゴン太一座がゲストに招かれ、コントや漫談を披露して会場を沸かせた。「誕生日ロー

ソク吹いて立ちくらみ——書いた字はすべて診察日「納得するまで計る血圧計」などの川柳を人形のゴン太が披露すると、医療関係の会員らが「少し納得」「心当たりあり」と苦笑する場面もあった。

「熟年の集い」は70歳以上の会員を対象に2007年に結成された。コロナ禍を除き毎年集いを開いてきた。この一年で死去した会員の冥福を祈り黙とうがささげられた。

日本薬剤師会功賞、県薬剤師会貢献賞表彰の受賞者の報告もあった。



「熟年の集い」楽しむ 県薬剤師会 70歳以上の50人

会報原稿募集のご案内

広報委員会

どしどし
お寄せ
下さい！

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随时募集しております（手記、隨筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。

☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

保健・福祉

なごみ会主催 第12回県民健康フェア

日時：令和7年8月17日（日）12:00～16:00

会場：沖縄コンベンションセンター 展示場



パール薬局
金城 耕晴

＜健康とおくすり相談ブース＞

去る2025年8月17日に開催されたなごみ会主催第12回県民健康フェアに、薬剤師の地域活動の一環として参加しました。

今回は、薬剤師職業体験・動脈硬化測定と健康相談のブースに分かれていて、私は健康相談ブースを担当しました。

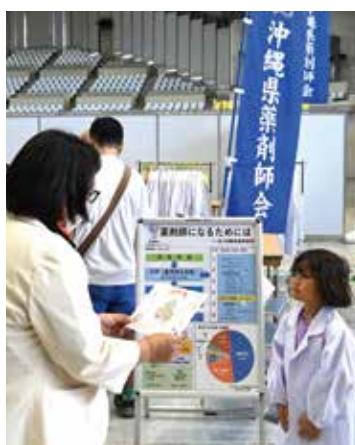
先に行った動脈硬化測定の結果説明（進行度の全体平均より自身の動脈硬化が進行しているか否かなど）と、動脈硬化の進行を遅らせるためのリスク因子の説明、生活アドバイスを行いました。

私は、血糖値の急激な変動による血管の老化を防ぐために低GI値の食品をお勧めしたり、海藻類の摂取の推奨、喫煙や飲酒による血管へのリスクなどの説明を行いました。

普段の薬局での勤務中に、内科処方の患者さんの採血検査結果のデータを見せて頂いて患者さん側から結果の更なる改善のアドバイスを求められる事もありますが、今回来場された方も幅広い年齢層で健康への関心が非常に高い印象を受けました。

未病の状態からの悪化を防ぐための生活習慣のアドバイスを行い、最終的に健康増進につながっていくことができれば、薬剤師として薬局以外での活動もとても意義のあるものだと1日を通して実感することができました。

健康とおくすり相談



こども調剤体験



るるみん



<こども調剤体験ブース>

8月17日(日)、沖縄コンベンションセンター展示棟で開催されたなごみ会主催の県民健康フェアに初めて参加させていただきました。

会場では、医療団体ごとにブースが設けられており、薬剤師会のブースには「おくすり相談」、「こども調剤体験」、「動脈硬化測定」のコーナーがありました。その中で、私は、こども調剤体験コーナーの担当でした。

こども調剤体験のコーナーでは、「インクレミンシロップと緑茶の相互作用実験」、「おくすりや薬剤師に関するクイズ」、「チョコを使用した一包化体験」がありました。各コーナーでやることの説明を受け、私は一包化体験の薬袋作成の係を担当することになりました。

開場時間になると、すぐに行列になり、たくさんの方が参加してくれました。調剤体験では、子供たちが白衣を着て、処方箋に従い薬袋を作成、薬の代わりのチョコで1日分の一包化した模擬薬を作り、一緒に来ている保護者の方に投薬するという一連の流れを体験してもらいました。最初はチョコに興味を示す子が多かったですが、分包機から出てくるのを見て、「すごい！」と楽しそうに喜ぶ子供たちの姿が印象に残っています。

◆薬剤師会ブース 相談員 (敬称略・順不同) 25名

○池内晶哉	○伊敷さゆり	○伊集智英	○岩本大
○大槻美佳	○鍛治礼子	○金城耕晴	○草壁瑞恵
○具志堅政樹	○坂井雅俊	○島袋さゆり	○田盛マールタ
○知念梨枝子	○中尾滋久	○長谷川幸司	○林伸嘉
○比嘉豊	○福地健治	○眞喜志泉	○又吉智賀子
○松本圭五	○村田美智子	○盛本直也	○阿部義則
○前濱朋子	相談者数98名、こども調剤体験参加者数:170名		

ぎぼ駅前薬局
大槻 美佳



4時間の健康フェアはあっという間で、絶えず来場者の方が来てください、私は自分の担当だけで手一杯になってしましましたが、相互作用実験のコーナーでは、インクレミンシロップに緑茶を混ぜるとタンニン結合により黒色に変化するという実験を行っており、色が変化することで視覚的にも相互作用を分かりやすく伝えることができたと思います。どのコーナーでも、子供たちや保護者の方が、私たち薬剤師の話を真剣に聞いてくださりとても嬉しかったです。

健康フェアに参加するまでは、初めての参加で不安な気持ちもありましたが、ベテランの先生方や私と同じく初参加の先生方にも親切にしていただき、充実した時間を過ごすことができました。来場者の方の夏休みの思い出の1つとなり、くすりや薬剤師に興味を持つきっかけになっていただけたら、と期待しています。



転載記事

琉球新報 令和7年8月6日（水）掲載

■17日に県民健康フェア 県医師会や県歯科医師会、県薬剤師会など18団体がこぞって出展する「第12回県民健康フェア」が17日正午～午後4時、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれる。

県内の医療や保健、介護の21団体で構成する「なごみ会」と県保健医療福祉事業団の共催。働き盛り世代などに健康に关心を持ってもらい、健康福祉の向上を図る。



恒例の行事だが、今回は小・中学生向けの職業体験コーナーを充実させる。本物の器具を扱う手術

や調剤の体験があり、県医師会の稻富仁理事=写真左から2人目=は「夏休みに自由研究のテーマにもなる。医療や介護の仕事に关心を持ってほしい」と期待する。

各団体が相談窓口を設け、骨密度や血管年齢の測定、頸動脈エコー検査を受けられる。ホテルのランチ券などが当たるスタンプラリーもある。

入場無料。問い合わせは県医師会、電話098(888)0087。

沖縄タイムス 令和7年8月11日（月）掲載

無料でエコーや骨密度測定 17日 宜野湾で健康フェア



31日
来場を呼びかける
み会のメンバーリー
沖縄タイムス社
7月

県内の保健医療関係団体でつくる県医療保健介護連合（なごみ会）主催の第12回県民健康フェア2025が17日正午から、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれる。入場無料。

県民の健康に対する意識を高めもらい、健康長寿の復活を図ることが目的。加盟18団体がブースを設置する。

通常、人間ドックでは有料の頸動脈エコー検査が無料で受けられる他、血管年齢や骨密度測定、栄養相談、虫歯

予防、VR認知症体験なども無料。本物の器具を使った手術体験や調剤体験など小中学生向けの職業体験コーナー、ホテルランチ券などが当たるスタンプラリーもある。

県医師会の稻富仁さんは「夏休み期間中なので家族で参加してもらい、健康を考えるきっかけになれば」と来場を呼びかけた。問い合わせは県医師会、電話098(888)0087。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

学術研修

令和7年度新任・新人薬剤師会研修会

日時：令和7年7月6日（日）13:00～17:30

会場：沖縄県薬剤師会館及びWEB

<プログラム>

1. あいさつ
2. 医薬品情報業務について
3. 薬歴の書き方について
4. 疑義照会について
5. 学校薬剤師部会について
6. 女性薬剤師部会について
7. 病院薬剤師部会について
8. 行政薬剤師部会について
9. 卸勤務薬剤師部会について
10. 青年薬剤師部会について
11. 閉会

司会	学術研修委員会	春 田 崇 彰
沖縄県薬剤師会	会長	前 濱 朋 子
	薬事情報委員会	宮 里 威一郎
	医療保険委員会	喜屋武 芳 美
	学術研修委員会	中 尾 滋 久
学校薬剤師部会	部会長	新 垣 紀 子
	女性薬剤師部会	高 木 英 子
	病院薬剤師部会	鈴 木 育
	行政薬剤師部会	喜屋武 千 早
九州厚生局沖縄麻薬取締支所	調査総務室室長	松 本 靖 広
卸勤務薬剤師部会	代表理事	鈴 鹿 玲 子
青年薬剤師部会	部会長	喜友名 朝 史

毎年、薬剤師の業務における基礎知識という内容で開催する本研修会は、各委員会や各部会のご協力のもとプログラムを構成し、実務実習生1名を含む22名の方に参加いただきました。学術研修委員会企画の本研修会は、病院薬剤師や薬局薬剤師の方にも参考になるように毎年プログラム内容を検討して開催しています。

今回は、研修会の前半は「医薬品情報業務」、「薬歴の書き方」、「疑義照会について」をテーマに、各委員会の講師の方々にご講義いただきました。

後半は、各部会から薬剤師会での活動についての紹介の時間を設け、初めて見聞きする人にもわかりやすく、活動内容について、またその魅力も併せて各部会担当者より発信していただきました。参加された皆様においては長時間に及ぶご出席、お疲れ様でした。

今後のご活躍の一助となれば幸いです。

すこやか薬局 SaRyu南風原店
川上 雄一郎



各プログラムの内容について、以下にご報告します。

<講義>

【医薬品情報業務について】

利活用できる媒体について実例を交えてわかりやすい紹介があった。速報性、信頼・加工度を踏まえて、手に取る資料を判断すること。多種多様な医薬品情報の特性を知ること、用途に応じてその情報を使い分けること、またそれを使いこなすために自分自身が必要な医薬品情報をあらかじめ把握しておくことが大事。そして情報は常に更新していく。

紹介例：添付文書とRMP、IF、今日の治療

【講師陣】



医薬品情報業務について
薬事情報委員会
宮里威一郎委員



薬歴の書き方について
医療保険委員会
喜屋武芳美委員



疑義照会について
学術研修委員会
中尾滋久委員長



あいさつ
沖縄県薬剤師会
前濱朋子会長



司会
学術研修委員会
春田崇彰委員



学校薬剤師部会について
学校薬剤師部会
新垣紀子部会長



女性薬剤師部会について
女性薬剤師部会
高木英子氏



病院薬剤師部会について
病院薬剤師部会
鈴木毅氏



行政薬剤師部会について
行政薬剤師部会
喜屋武千早氏



行政薬剤師部会について
九州厚生局沖縄麻薬取締支所 調査総務室
松本靖広室長



卸勤務薬剤師部会について
卸勤務薬剤師部会
鈴鹿玲子代表理事



青年薬剤師部会について
青年薬剤師部会
喜友名朝史部会長

薬などの書籍類、インターネットHP（健康食品の情報、県薬HPの適応外使用情報、海外の薬剤 Drugs.com、ドーピング関連でJADA、ヒヤリハット分析事業など）

【薬歴の書き方について】

薬剤師は法に沿って仕事をすることが重要であり、憲法の下薬機法、薬剤師法、健康保険法があり、さらにその下に省令や規則が統一され、我々はこれらを守らなければいけない。

薬歴はSOAP形式の記載方法を例に、処方箋の内容の変更の有無によって患者への質問の仕方を工夫することで薬歴の充実度が変わること

こと、薬局で統一した書き方をすること、周囲のスタッフのアドバイスに耳を傾けること、より良い薬歴を残すために不断の努力が大事である。

【疑義照会について】

疑義照会について、会場とWEBの参加者へ問い合わせをしながら実例・実践を交えた内容だった。疑義をする際の伝え方、考え方、代替案の準備、処方せんへの記載方法に関する講義があった。“薬剤師は独立した専門職として、患者に対して直接最善を尽くす義務を負っていること”

薬剤師法第24条および療担規則第23条2項に触れ、疑義照会は薬剤師の与えられた権利の1つで、医薬分業の根幹を成す行為であり、医療の質向上につながる。患者だけではなく、周囲の人や連絡を受ける相手（医療機関）のこととも考えることも大事である。

まとめられた具体的で現場感ある講義で、ある程度現場を経験してきた参加者は理解しやすかったのではないかと思う。

＜部会紹介＞

【学校薬剤師部会について】

学校薬剤師について、必要性と主な仕事、業務について紹介いただいた。

学校薬剤師は、学校保健安全法第23条における非常勤職員であり、法施行規則第24条に記載の主な職務として、

- ①学校保健計画・学校安全計画の立案に参与
- ②学校環境衛生基準に基づいた検査
- ③学校環境衛生について指導と助言
- ④学校で使用する医薬品について指導と助言
- ⑤学校において保健指導への関わり、さらに執務記録簿の記入と提出が求められる。

学校薬剤師になるためには推薦の委託を受けた沖縄県薬剤師会の会員であることが必須であり、そこで配置調整され勤務（県または市町村教育委員会からの委嘱）するに至る。

また、期待される役割の1つに保健体育教諭や養護教諭ら教師との連携がありサポーターとしての役割がある。

【女性薬剤師部会について】

昨年の活動報告を交えて、研修内容やスクリーニング講座、地域貢献活動、薬草園などを紹介。日々の業務や地域活動に応用できるように毎年プログラムを検討している。

【病院薬剤師部会について】

県薬会員は薬局勤務が多く、病院勤務は少ない状況。状況打破のため特典情報を織り込みながら活動の一部をかいつまんで紹介あり。学術大会参加、研修会開催、薬薬連携の取り組みなど。

【行政薬剤師部会について】

ピンと来ない方のために仕事内容について紹介あり。保健所の薬剤師（薬事担当、医事担当、食品衛生担当、生活衛生担当、環境衛生担当）、県庁の薬剤師、衛生環境研究所の薬剤師について。それぞれ幅広い業務を他職員とともに協力しながら活躍している。

もちろん我々薬局・病院薬剤師の普段の業務でも関わることが多いにある。さらに、麻薬取締官の仕事についても触れた。普段耳に入ってこない内容に興味を持った方も多数いたかと思う。また、災害時・薬物乱用などを念頭に日頃からの連携（情報収集・交換、伝達）が必要だと感じた方もいただろう。

【卸勤務薬剤師部会について】

GDP、JGSPといった医薬品流通に関するルール（実践規範とガイドライン）の存在があること。卸の主な5つの機能を以下のとおり紹介した。

- ①物流業務
- ②販売業務
- ③金融機能
- ④情報機能
- ⑤災害パンデミック時の対応機能

そして、卸勤務薬剤師の主な6つの仕事内容の紹介があった。

- ①薬事管理
- ②D I 業務
- ③品質管理
- ④P M S 業務
- ⑤人材の育成
- ⑥社外との連携

病院・薬局薬剤師の業務の中で“患者様へ（調剤された）医薬品をお渡しできる”ことを成り立せているのは卸による医薬品流通があつてこそであり、我々も流通の延長線上立っている。

身近な存在で、協力していかなければいけない大切な存在である。

【青年薬剤師部会について】

“つながり”を大切に。つながりを力に変えて夢を実現させてほしい

45歳未満の会員の方はみんな青年部であり、若手薬剤師の横のつながりを広げる活動として、勉強会や地域活動、イベントなどを紹介いただいた。

さらに会員でなくても参加可能で、一緒に企画運営する人も募集している。

実務実習

令和7年度第Ⅱ期薬学生実務実習

令和7年度第Ⅱ期薬学生実務実習が無事に終了したので報告する。

第Ⅱ期は5月19日(月)～8月2日(日)までの日程で行われ、11大学（第一薬科大学・崇城大学・九州医療科学大学・山口東京理科大学・長崎国際大学・国際医療福祉大学・横浜薬科大学・広島国際大学・武蔵野大学・日本大学・安田女子大学）から22名の学生を受け入れた。

実務実習は改定モデル・コアカリキュラムに沿って行われるが、薬局実習と病院実習の一貫性を図り、計22週間の実習をより効率的に行い、学習効果を上げることが求められている。

日々の薬局での実習では調剤業務や患者対応、症例検討などを行い、服薬指導では一人の患者に複数回の指導を行うことで患者の状態の変化や薬の効果・副作用の有無など聞き

薬学生実務実習受入委員会

宮本 直樹



取れるように取り組んでいる。さらに沖縄県では外部実習として漢方・OTC・薬局製剤・在宅医療・学校薬剤師・医薬品卸の見学など各関係機関の協力の下、薬剤師が関わる様々な業務を体験してもらっている。今回、当薬局ではタイミング良く地域ケア会議にも出席してもらえたので、他職種連携を体験できる良い機会になったのではないかと思う。

今回も快く実習生を受け入れて頂いた薬局・指導薬剤師・薬局スタッフ・外部実習や集合研修でご協力頂いた先生方・関係協力機関には改めて感謝を申し上げ、私からの報告とする。



令和7年度第Ⅱ期実務実習薬学生記念撮影

協力施設・委員会・団体（順不同）

○ぼたん薬局	○(株) 薬正堂	○そうごう薬局新赤十字前店
○こくら虹薬局	○ヴァインドラッグ末吉店	○ミドリ薬局美里店
○(株) ダイコー沖縄	○すこやか薬局野嵩店	○つる薬局
		○(株) 琉薬

実務実習薬学生・受入薬局

(敬称略・順不同)

名前	大学	実習薬局	指導薬剤師
島田 育美	第一薬科	吉田薬局 はんたがわ店	吉田 洋史
崎濱 美玖	第一薬科	こくら虹薬局	兼城 明子
當山 貴馨	第一薬科	レモン薬局	平田 崇
安生 心優	第一薬科	幸地薬局	幸地 良信
親富祖 康太	崇城大学	経塚薬局	神田 寛之
嘉手川 藍	崇城大学	すこやか薬局 牧港店	照屋 勇人
高良 琉音	九州医療科学大学	すこやか薬局 野嵩店	金城 由美子
玉城 桃花	九州医療科学大学	あなたのかかりつけ薬局	上原 卓朗
宮城 杏友見	山口東京理科大学	すこやか薬局 外間店	金城 奈々美
稻福 葵南	長崎国際大学	ミドリ薬局 美里店	橋本 正嗣
宮城 武人	国際医療福祉大学・福薬	がじまる薬局	照屋 林一郎
川満 舞	国際医療福祉大学・福薬	とくりん薬局 比屋根店	高木 英子
富山 怜佳	横浜薬科大学	みさと虹薬局	具志堅 咲
辺士名 香穂	横浜薬科大学	すこやか薬局 ライカム店	松田 絵理菜
久部良 鳩太	横浜薬科大学	なみき薬局	宮良 喜朗
新垣 未夢	広島国際大学	いは薬局	瑞慶山 礼奈
上里 彩	広島国際大学	すこやか薬局 登川店	後藤 彬宏
仲宗根 雅	広島国際大学	ミルク薬局 天久店	舟井 亮太
勢力 やまと	広島国際大学	しらさぎ虹薬局	運天 芳生
大城 カレン	武藏野大学	つる薬局	前濱 朋子
浦崎 万理南	日本大学	こくら虹薬局	兼城 明子
玉城 麻衣	安田女子大学	ゆんたく薬局 おもろまち店	宮本 直樹

令和7年度第Ⅱ期薬学生からの体験記・感想

長崎国際大学5年 稲福 葵南
(ミドリ薬局美里店実習 指導薬剤師:橋本 正嗣)

薬局実習を通じて、薬剤師の業務の広がりと地域における役割を実感することができました。特に印象に残ったのは、調剤業務における機械化の進展です。分包機や監査システムを用いることで、対物業務が効率化され、ヒューマンエラーの防止につながっている様子を見学しました。機械に任せられる部分を最適化することで、薬剤師が本来注力すべき対人業務に時間を割けるようになっている点は、今後の薬局業務のあり方を象徴していると感じました。

また、今回の薬局はドラッグストアに併設されており、OTC医薬品を購入する方や一類医薬品を求める方に対して、薬剤師が丁寧に対応している場面を数多く目にしました。購入者の症状や既往歴を確認し、適切な医薬品を提案する姿は、まさに地域住民の健康を守る「身近な専門家」としての役割そのものでした。服薬指導だけでなく、セルフメディケ

ションを支える重要な窓口であることを理解する機会となりました。

さらに、血糖値やコレステロール値を簡易的に測定できる検査キットの見学も大変興味深い経験でした。検査希望者が受付を済ませ、測定、結果説明に至るまでの流れを間近で観察し、薬局が健康サポート機能を持つことの意義を改めて感じました。こうした検査は、生活習慣病の早期発見や健康意識の向上につながるものであり、薬剤師が予防医療に積極的に関与できる可能性を強く感じました。

今回の実習を通じ、薬剤師は単に調剤を行うだけでなく、患者さん一人ひとりの生活に寄り添い、健康維持や疾病予防にも貢献する存在であることを学びました。今後は、学んだ知識をさらに深め、将来は信頼される薬剤師として地域医療に貢献できるよう努力していきたいと考えています。

崇城大学5年 親富祖 康太
(経塚薬局実習 指導薬剤師:神田 寛之)

薬局実習では、調剤業務や服薬指導、在宅訪問などを通じて、薬剤師に求められる知識や技術に加え、現場での姿勢や患者さんとの関わり方の大切さを学ぶことができました。

経塚薬局は医療モールの門前にあり、複数診療科の処方が集まる環境であったため、幅広い疾患と薬剤に触れることができました。実習が始まった当初は先発品名での処方に戸惑つたりしましたが、その都度調べたり、先生方に質問していくことで少しづつ理解が深まりました。小児の処方箋に關しても、調剤・投薬どちらも多くのことを教えていただき、力価計算を繰り返し練習する中で、正確さと慎重さが求められることを実感しました。

調剤業務では散剤・水剤・軟膏の調製、一包化監査など業務全般を行うことが出来ました。服薬指導では、薬剤師の先生方が患者さんの生活背景を踏まえて説明している姿が印象的で、私自身も実践する中でコミュニケーションの難しさと重要性や、患者さんへのアプローチ法を学

びました。さらに、透析室訪問や在宅訪問の機会をいただき、患者さんの生活に直結する薬学的支援を体験しました。透析室では腎機能や透析スケジュールを考慮した薬物管理の必要性を理解し、在宅訪問では嚥下障害のある患者さんに対する個別性の高い指導や、多職種連携の重要性を実感しました。また、薬剤師会主催の外部実習を通じて、薬局が地域の健康拠点として果たす役割についても学びました。今回の経験を通じて、薬剤師の仕事の奥深さとやりがいを改めて認識するとともに、自分が目指す薬剤師像も少しづつ明確になりました。今後はこの学びを活かし、将来、沖縄の地域医療に貢献できる薬剤師を目指して努力していきます。最後に、丁寧にご指導くださった薬剤師の先生方、日々の業務の中で支えてくださった事務の皆様、そして多くの外部実習の機会をくださった沖縄県薬剤師会の皆様に心より感謝申し上げます。充実した11週間を本当にありがとうございました。

安田女子大学5年
(ゆんたく薬局おもろまち店実習)

薬局実習では錠剤のピッキングから始まり、粉薬やシロップなどを調剤したり、一包化や処方解析、服薬指導など様々な薬局の業務を一通り体験しました。

薬局実習を経て私が一番難しかった事は、「物よりも「人」を重視した服薬指導を心がけることでした。指導薬剤師の先生が、患者さんが薬を飲んだ時にむせると訴えていたら何を疑うのかという話をしてくれました。タケルダ配合錠は大きいので飲み込む時にむせやすいという患者さんが多く、アスピリンとランソプラゾールOD錠に変更することで薬が小さくなり、飲み込みやすくなります。しかし、この患者さんはタケルダを問題なく飲めているのかもしれません。タケルダ配合錠の他にも抗コリン薬を飲んでいて口渴が起きてむせてしまっているかもしれません。ここで大事なのは薬(タケルダ配合錠)に視点を置くか、患者さんに視点を置くかによって服薬指導の内容が大きく変わることです。

薬の説明をして、副作用が出ていないか確認するだけではなく、ちゃんと安全に薬が飲めているか、不安や悩んでいることはないかなどあら

玉城 麻衣
(指導薬剤師:宮本 直樹)

ゆることを考慮し、患者さんにとって1番ベストな方法は何かを考えて服薬指導をしなければならないと学びました。残念ながら実習期間ではそのレベルまでは到達できませんでしたが、薬剤師さんは患者さん一人一人としっかりと向き合って仕事をしているのだと実感できただけでもとても意義のある11週間だったなと思います。

外部実習では、お薬相談会、在宅、学校薬剤師、災害薬剤師、漢方実習、ドラッグストアなど色々な場所で活躍している薬剤師さんと関わることができました。どの現場でも薬剤師の薬学や化学に関する幅広い知識が必要とされている事を知り、この経験を国家試験のモチベーションにしていきたいと思いました。

薬局実習を経験して、コミュニケーションスキルや薬に関する幅広い知識を身につける事、患者さんとの信頼関係を築く事の重要性を学びました。この経験を活かしさらに多くの知識を吸収しながら病院実習に励みたいと思います。色々な事を親身になって教えてくださった宮本先生、サポートしてくださいました事務の皆さん本当にありがとうございました。

地区だより

一般社団法人那覇地区薬剤師会第12回定期総会

日時：令和7年5月31日（土）19:00～19:40

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<次第>		司会 内田 太郎
1	出席人員確認・宣言	
2	開会の辞	副会長 吉田 安樹
3	会長あいさつ	会長 吉田 洋史
4	議長選出	
5	議事録署名人の選出	
6	議題	
	報告 第1号 令和6年度会務・事業経過報告	会長 吉田 洋史
	第2号 令和6年度監査報告（代理報告）	副会長 吉田 安樹
	議案 第1号 令和6年度決算承認について	副会長 吉田 安史
	第2号 理事・監事選任について	会長 吉田 洋史
	報告 第3号 令和7年度事業計画について	会長 吉田 洋史
	第4号 令和7年度予算について	副会長 吉田 安樹
7	閉会の辞	会長 吉田 洋史

去る5月31日（土）沖縄県薬剤師会館において、那覇地区薬剤師会第12回定期総会が開催された。本人出席および書面出席（委任状による出席・議決権行使）を合わせ、定款に定める定足数を満たしていることが確認され、総会の成立が宣言された。司会は内田太郎理事が務め、吉田安樹副会長の開会の辞により開会した。

冒頭の会長挨拶では、吉田洋史会長より「昨年度から個人会費の徴収を開始したが、個人会員の加入率が思うように伸びていない。今後も皆様のご理解をいただきながら、那覇地区薬剤師会としての結束を深めていきたい。また、これまでの活動を評価していただけるよう、沖縄県薬剤師会や行政と連携しながら取り組んでいきたい。ぜひ忌憚のないご意見をお願いしたい。」と述べた。

議事では、宮本直樹理事が議長に選出され、議事進行を担当した。議事録署名人として酒井明子会員および与儀和子会員が選任され、承認された。続いて、令和6年度の会務・事業経過報告が行われた。内容として、包括支援センターの地域マネジメント支援会議や地

域医療支援病院運営委員会への参加、お薬相談会の開催、インスリン針回収などの活動が報告された。また、新たな取り組みとして、渡嘉敷村における「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」において、ポリファーマシー対策の講師を6月と8月の2回派遣したことも報告された。

令和6年度監査報告については、吉田安樹副会長により代読され、会計および事業執行が適正であったことが報告された。その後、令和6年度決算および理事・監事選任について審議が行われ、いずれも承認された。さらに、令和7年度の事業計画および予算について説明があり、吉田洋史会長より「資料に記載されている事業以外にも、良い提案があればぜひお寄せいただきたい」との呼びかけがあった。

すべての審議事項が承認・可決された後、吉田洋史会長より閉会の辞が述べられた。その中で会計報告に関する補足説明があり、決算の赤字幅が予算上縮小されている理由として、7月より薬局にご負担いただいている保険薬局負担金を引き上げる予定である旨が説

明され、以上をもって総会は閉会した。

引き続き、本総会をもって退任される吉田安樹副会長に対し、これまでのご尽力をねぎらい、花束の贈呈が行われた。

総会終了後には、新理事による臨時理事会が開催され、吉田洋史会長候補理事が満場一致で承認され、新体制が発足した。

(報告:那覇地区薬剤師会事務局 久場川 さえ子)

会長 吉田 洋史

副会長 永井 賢作、宮本 直樹、

盛本 直也 (新)

理事 又吉 智賀子、國吉 直子、

喜友名 朝史、内田 太郎、

桥井 亮太、神谷 朝斗志 (新)、

西川 裕 (新)、中尾 滋久 (新)、

柴田 忠佳 (新)

監事 戸田 澄之、平良 仔己子

転載記事

2025年7月17日木曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2889号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

HARMACY NEWSBREAK

© 2025 じほう

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写そのほかの複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

沖縄の病薬確保へ、昭和薬科大が給付金制度創設

最大 414 万円、県と覚書締結も

沖縄県内の病院に勤務する薬剤師の確保を目的に、昭和薬科大（東京都町田市）は2026年度から、「沖縄県地域医療貢献給付生制度」を創設する。沖縄県から同大に進学し、病院薬剤師として沖縄の地域医療への貢献を志す学生を対象に、6年間で最大414万円の奨学金を給付する。

同大と県病院事業局が14日、県立病院の薬剤師確保に関する取り組みを推進するための覚書を締結した。主な協力事項は▽薬学生に対する就職説明会などの就職支援▽県立病院薬剤師の育成および技術向上。同日県庁であった締結式で、本竹秀光病院事業局長と同大の渡部一宏理事長が覚書に署名し、同大が給付生制度の新設を発表した。

給付生は、沖縄県内に居住する同大指定校推薦試験合格者のうち、希望する学生を対象に、入学試験とは別に給付生選考試験を実施し選抜する。薬剤師国家試験に合格後、県が指定する県立病院または同大が指定する県内病院で3年間勤務することを条件とする。

同大の宇都口直樹学長は「この制度を活用し、沖縄の地域医療を支える病院薬剤師を目指していただきたい」とコメントを発表した。

[許諾番号20250717_01]

株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

地区だより

科学体験イベント「ストームグラス工作教室」開催

日程：令和7年8月16日（土）

会場：糸満市立図書館

8月16日（土）、糸満市立中央図書館にて、南部地区薬剤師会とのコラボレーション事業として、小学生をメインに「ストームグラス工作教室」を開催いたしました。当初、定員15名に対して募集開始から30分で全ての枠が埋まるほどの大きな反響をいただき、その後、実験方法や材料を工夫することで追加枠を設け、最終的に25名の児童が参加しました。

「ストームグラス」とは、19世紀に航海士が天候予測に用いたとされる結晶観察装置で、気温や気圧などの条件によってガラス瓶内に現れる結晶の形が変化する不思議な実験教材です。今回は、このストームグラスを実際に製作し、子どもたちに科学の面白さを体験してもらいました。

当日は図書館スタッフに加え、南部地区薬

糸満市議会議員
黒島 新



剤会からはボランティア薬剤師5名、元教員でもある私の妻の協力も得て、安全管理に十分配慮しながら進行いたしました。子どもたちは実際に試薬を混合し、溶液中に結晶が形成される様子を興味深そうに観察していました。保護者の方々からも「説明が分かりやすく、大人でも楽しかった」との感想をいただけたことは大変嬉しかったです。また、実験の終わりに参加した子ども達が白衣を着ての記念撮影会を行ったところ、僕も私も集まるなど、予想外な好評さであり、参加者にとって思い出深い体験になったことだと思います。



実験に取り掛かる前の冒頭で、薬剤師の仕事や薬の正しい服用方法についても簡単に紹介し、薬剤師という職業を身近に感じていたらしく機会を設けました。会場からは“～～”という感想が漏れ聞こえ、牛乳でお薬を飲むと答えた児童には薬によっては効果がすごく落ちてしまうので、水で飲む方がいいですよと普段薬局で伝えていることができ、ちょっとした服薬指導も行えました。

実験の説明としてストームグラスの結晶変化以外にも、進化論で有名なチャールズ・ダーウィンが乗船した船に使われていたというエピソードやストームグラスが作品中に出てくる関連書籍の紹介（海底2万里）などを織り交ぜるなど、最近話題の“STEAM教育”的観点を意識した内容とし、理系文系問わない分野横断的な学びを体験いただけたのではと考えています。



今回の取り組みは、岡山県にいた際、同じく薬剤師会で地域イベントとして行った事例に学びながら準備を進めてきたものであり、地域における科学教育の推進に薬剤師が寄与できる事例に資するものではないでしょうか。今後は糸満市のみならず、対象地域を南部全体へと広げ、継続的に実施していきたいと考えております。

最後に、本事業の実施にあたり多大なご協力をいただきました糸満市立中央図書館の金城館長をはじめ、担当の幸地様、図書館スタッフの皆様、そして南部地区薬剤師会の新垣会長ならびに協力いただきました先生方に厚く御礼申し上げます。また、遠方より情報提供いただきました岡山県薬剤師会のT井先生にもこの場を借りて感謝申し上げます。



イベント当日は南部地区薬剤師会の新垣会長、名嘉先生、鈴鹿先生、川上先生、更屋先生に参加いただきました。

転載記事

沖縄タイムス 令和7年9月4日(木)掲載

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

地区だより

令和6年度八重山地区薬剤師会総会

日時：令和7年4月18日（金）20:00～21:30

会場：大濱信泉記念館 研修室

<式次第>

○報告

令和6年度收支決算報告

石垣綾子

令和6年度FAXコーナー収支決算報告

宮良善朗

○議案

令和7年度役員選任案

荒谷敏巳

令和7年度予算案

石垣綾子

令和7年度FAXコーナー予算案

宮良善朗

令和7年度活動計画

荒谷敏巳

令和7年4月18日大濱信泉記念館において、令和6年度八重山地区薬剤師会総会が開催されました。担当理事より決算報告と予算案について説明があり審議されました。

主なものとしては、①任期満了に伴う役員の改選、②FAX送信料について、③地区会費について審議されました。

①役員選任について執行部案通り承認される。

会長：荒谷敏巳 副会長：新高由香

書記：城野貴子 会計：石垣綾子（新）

理事：宮良善朗・弘部千香子（新）

②今年度もFAX送信料受付1回あたり130円とする。

③会員の減少に伴い入会促進のため地区薬剤師会会費2000円→1000円/月へ変更とする。

その他、令和6年度収支決算・FAXコーナー収支決算についても異議なく承認され、

八重山地区薬剤師会
会長 荒谷敏巳



活動計画では「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーンへの参加、薬と健康の週間啓発活動のための街頭キャンペーン実施、昨年同様お薬相談会を「石垣市健康福祉まつり」にあわせて実施すること、多職種連携強化のため各種健康イベントへの参加や、他業種からの講師依頼等あれば積極的に参加するなどの意見が交わされました。

全ての議案において承認され令和6年度八重山地区薬剤師会総会が無事終了しました。
(報告:八重山地区薬剤師会 会長 荒谷敏巳)

お知らせ

地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

月例相談会

第202回健康とおくすり相談会

日時：令和7年9月21日（日）10:00～16:00

場所：サンエー石川シティ

担当：中部地区薬剤師会

さくら薬局 てだこ浦西店
篠島 知



9月21日、地域住民が健康について楽しみながら学び、体験できることを目的とした「健康とお薬相談会」に参加しました。当日は多くの方にご参加いただき、薬剤師が身近な健康サポーターとして果たす役割を実感していただける機会となりました。

会場では、骨の健康状態を知ることができる「骨密度測定」を実施しました。測定結果をもとに、薬剤師が食事・運動・生活習慣に関するアドバイスを行い、骨粗鬆症予防や日常生活の工夫について具体的にご説明しました。参加者の皆さまからは「自分の骨の状態を初めて知ることができてよかったです」「今後の生活習慣改善の参考になった」といった声が寄せられました。

また「お薬相談」では、服薬中の薬や副作用に関する相談を受けました。血圧の薬を服用するメリットやコレステロールを下げる薬の副作用についての質問などが寄せられまし

た。考えさせられる質問ばかりで調べながら慎重に対応いたしました。生活習慣病治療薬は長期にわたる服薬が必要となるため、患者さんが安心して治療を継続できるよう情報提供を行い、必要に応じて医師への相談を勧めるなど、きめ細やかな対応を心がけました。

今回のフェアを通じて、薬剤師は薬の専門家であると同時に、生活習慣改善や健康増進を支援する存在であることを、地域の皆さんに伝えることができました。今後も地域に根差した活動を継続し、より多くの方々の健康維持・増進に貢献していきたいと考えています。

◆健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○福地 健治 ○篠島 知 ○伊集 智英
○安里 生信 ○江夏 京子 ○瑞慶山 純子
○島里 篠弥 ○武田 美帆

相談員7名+実習生1名 相談者数125名



女性薬部会

令和7年度女性薬剤師部会総会

日時：令和7年6月1日（日）10:00～10:30

会場：沖縄県薬剤師会会館 研修室

<次第>

1. 開会のことば
2. 挨拶

3. 議題

報告事項

- (1) 令和6年度事業報告
- (2) 令和6年度会計報告

議案事項

- (1) 令和7年度事業計画案
- (2) 令和7年度予算案
- (3) 女性薬剤師部規定の改定

4. 閉会のことば

司会：副部会長 狩 俣 イ ソ
 副部会長 狩 俣 イ ソ
 沖縄県薬剤師会会長 前 濱 朋 子
 部会長 草 壁 瑞 恵

副部会長 狩 俣 イ ソ
 会計担当 高 木 英 子

 副部会長 狩 俣 イ ソ
 会計担当 高 木 英 子
 部会長 草 壁 瑞 恵
 副部会長 狩 俣 イ ソ

去る6月1日（日）、研修室にて令和7年度女性薬剤師部会総会が、副部会長の狩俣イソ先生の進行のもと開催された。沖縄県薬剤師会会長の前濱朋子先生にもご臨席いただき、開会にあたりご挨拶を賜った。

(報告事項)

1. 令和6年度事業報告：副部会長の狩俣イソ先生より、研修会の実施、地域活動への参加など令和6年度の活動状況について報告がなされた。
2. 令和6年度会計報告：会計担当の高木英子先生より、収支の状況について説明があり、適正に会計が執行されたことが報告された。

(議案事項)

1. 令和7年度事業計画案：狩俣イソ先生より、今年度も薬剤師継続学習通信教育講座、漢方講座、妊娠・授乳とくすり関連の研修会の実施、さらに地域貢献活動として乳児健診の参加など、前年度と同様の活動計画案が提案され、承認された。
2. 令和7年度予算案：高木英子先生より、

次年度の予算案が示され、適正な資金配分に基づき承認された。

3. 女性薬剤師部規定の改定：部会長の草壁瑞恵先生より、沖縄県薬剤師会として各部会で規定を統一する方針に基づき、女性薬剤師部会においても規定改定の提案があり、了承された。

最後に薬剤師連盟活動について、与儀和子先生よりこれまでの薬剤師連盟活動の報告とともに、7月実施予定の参議院議員選挙前日までの活動への積極的な協力が呼びかけられた。

全ての議題が承認され、令和7年度女性薬剤師部会総会は滞りなく終了した。

（報告：事務局 金城 みどり）



女性薬部会

令和7年度女性薬剤師部会研修会

日時：令和7年6月1日（日）10:30～12:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

＜次第＞

部会長挨拶

会長挨拶

研修「中医薬学から学ぶ未病・予防胎児期からの生活習慣病」

中医薬膳師・県知事承認琉球料理伝承人 宮 國 由紀江

質疑応答

沖縄県女性薬剤師連盟より連絡

司会 与 儀 和 子

女性薬剤師部会 部会長 草 壁 瑞 恵

沖縄県薬剤師部会 会長 前 濱 朋 子

令和7年6月1日に「中医薬学から学ぶ未病・予防」に参加しました。講師の宮國由紀江先生は栄養士でありながら、国際薬膳師として琉球料理伝承人の資格をお持ちでした。「食べ物で心と身体を元気に」を拝聴致しました。いくつか紹介します。

【中医学の根幹】

弁証論治…症状に対して食材をおいしく使って治療する方法

天人合一…環境と身体は一体であるという考え方（例えば、湿気があれば寝苦しいなど）
整体観念…環境変化と身体変化には相互に影響している（例えば、心の状態が悪くても中医では内臓の動きを診る）

未病先防…病気になる前の不調に気づき改善すること

三因制宜…病名で管理するのではなく、その人個人に対して治療をオーダーメイドする

【肝臓に良い食材】

（「肝」とは、血を蓄え血流を調節する働きと自立神経の働きを管理する臓器）

主に造血作用：黒豆、木耳、人参、パセリ、ほうれん草、あさり、イカ、桑の実、ブドウ、豚足、豚レバー、鶏卵、バター、ラードなど

主に血流をよくする：オレガノ、キャベツ、しそ、玉ねぎ、三つ葉、らっきょう、オレンジ、シークヮーサー、にら、バジルなど

つつじ薬局
諸見里 めぐみ



【腎臓に良い食材】

（「腎」とは、生殖器・成長・発育を管理する臓器）

黒米、小麦（ショウバク）、さつま芋、山芋、黒豆、カリフラワー、鰯、桑の実、ブルーベリー、ししゃも、ホタテ、鶏肉、豚肉、バターなど

*桑の実は、肝臓、腎臓両方に良い食材となります。

【漢方と食事】

[モーイ豆腐]昔ながらのモーイ（いばらのり）には、結氣を散らし、頭の瘤、並びに女人の血固まりが腹下に鳴り痛むのを治し小便を通じ水腫にもよい。うつ症状を緩和し、月経痛や浮腫みを緩和させます。

[ちんすこう]ちんすこうは、便通、利尿作用、毛を生む、肺を潤すなどデトックス効果があると初めて知りました。「骨と髪を作るサプリメント」として先生がおススメしておりました。

今回、中医学に根幹5種類があると知りました。それから、先生は日本の漢方薬は中医学の1/3量のため、悪寒時に麻黄湯の中に

摩り下ろし生姜を入れ一緒に呑む、胃腸薬としてアロエが良いと話されました。女性の身体では、肝臓と腎臓との関係と食材について興味持てる内容でした。

これから生活習慣病やフレイル予防などを踏まえ食材や摂取量を考え、適切な栄養状態を保つようにしようと感じました。何をどれだけ摂取するか、また甘い物はルールを決めて摂取する等も考えたいと思います。元職場が同じであり親近感が湧き楽しく傾聴致しました。宮國先生、盛り沢山の内容のご講演ありがとうございました。

【講師】



宮國由紀江氏

お知らせ

Facebookをご覧下さい！



一般社団法人
沖縄県薬剤師会
@okinawaopa

ホーム

投稿

写真

ページ情報

いいね！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

行政部会

令和6年度行政薬剤師部会総会

行政薬剤師部会は、令和6年度総会を2回、意見交換会を1回開催しました。

〔第1回総会〕

日時：令和6年5月10日（金）18:00～18:30

1. 行政薬剤師部会長挨拶
2. 行政薬剤師部会摂津要綱の説明及び役員の選任
3. 令和6年度活動計画

令和6年5月に開催した第1回総会では、沖縄県薬剤師会行政薬剤師部会設置要綱の説明後、役員の選任を行いました。また、令和6年度事業計画として、組織の強化拡大、全国又は地方学会等への参加、沖縄県薬剤師会への入会取組強化を掲げ、承認を得ることができ、令和6年度は2名の新規入会があったことを報告しました。

〔意見交換会〕

日時：令和7年1月10日（金）18:00～18:30

1. 行政薬剤師部会長挨拶
2. 阿部専務理事 来賓あいさつ
3. 厚生労働省医薬局長表彰の受賞報告

令和7年1月に開催した意見交換会では、部会員である津波昭史氏（沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課生活・衛生水道班長）の厚生労働省医薬局長表彰受賞を報告しました。また、沖縄県薬剤師会から阿部専務理事にご出席いただき、行政薬剤師部会の今後の活動に対する助言や、沖縄県薬剤師会と行政薬剤師の連携、協働に関する提言を頂きました。

〔第2回総会〕

日時：令和7年3月14日（金）12:00～12:30

1. 行政薬剤師部会長挨拶

2. 令和6年度行政薬剤師部会の活動報告
3. 学校薬剤師及び健康とおくすり相談会への参加呼びかけ
4. 薬剤師会への加入状況の説明

令和7年3月に開催した第2回総会では、令和6年度の活動報告の承認、学校薬剤師及び健康とおくすり相談会への積極的な参加依頼を行いました。

ここで、誌面をお借りして、少し沖縄県の薬局・薬剤師関連の事業を紹介させていただきます。沖縄県では、県内の慢性的な薬剤師不足解消を目的として「薬剤師確保対策事業」（沖縄県薬剤師会が実施している県外薬科大学へのU・Iターンガイダンス開催に係る費用への補助）、「薬剤師確保対策モデル事業」（県内での就業を条件とした奨学金返還への補助）、「県内国公立大学薬学部設置推進事業」（県内国公立大学への薬学部設置推進に関する実施）を実施しています。さらに、救急医療における薬局の体制維持を目的とした「救急医療対応薬局体制確保事業」（会営薬局等への補助）も令和5年度から実施していますので、引き続き、会員の皆様方の薬務行政への御理解御協力をお願いします。

最後になりますが、行政薬剤師は、薬事関係業務、食品衛生業務、環境衛生業務等と幅広い内容の業務に携わっており、県庁、保健所及び環境衛生研究所等に勤務しています。行政薬剤師について興味をお持ちの方がいましたら、沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課までお問合せください。

（報告：行政薬剤師部会 喜屋武 千早）

卸薬部会

2025年度 卸勤務薬剤師部会総会 (日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部)

日時：2025年6月6日（金）16:00～17:30

会場：沖縄東邦株式会社 3階会議室

（会次第）

司会：鈴鹿 玲子 議長：伊集院 良憲

- 1 開会
- 2 支部長挨拶
- 3 議事

1) 報告事項

1. 2024年度 支部活動状況報告
2. 2024年度 実務実習薬学生の受入報告
3. 2024年度 会計監査報告・収支報告
4. 2025年度 理事会報告
5. 2025年度 九州ブロック協議会報告
6. 2024年度 支部会員の入会・退会報告



2) 協議事項

1. 2025年度 支部活動計画について
2. 2025年度 沖縄県支部会費について
3. 2025年度 支部予算について
4. Web研修の参加費の補助について
5. 2025年度 公文書開示請求担当卸について（持ち回り、継続の賛否）
6. 役員改選について
7. その他



3) 連絡事項

1. 実務実習薬学生受入について
2. 沖縄県支部会費について
3. 研修会等への派遣・助成について
4. その他

4 閉会

去る6月6日（金）、沖縄東邦株式会社3階会議室において、2025年度卸勤務薬剤師部会総会が開催された。

司会は、事務局 鈴鹿 議長は支部規約第九条により伊集院支部長が務めた。

本総会は次第に沿って担当より報告及び議案の説明が行われ、全て承認され終了した。

内容の一部を紹介する。

日本医薬品卸勤務薬剤師会
沖縄県支部 事務局
沖縄東邦株式会社
鈴鹿 玲子



報告6：入会者の紹介

*2025年4月より 宮城 裕二（琉薬）
退会者：2025年3月

比嘉 保（アトル）

前原 律子（ダイコー沖縄）

*2025年5月

岡島 肇（琉薬）（*：次年度報告対象）

議案6：役員改選

- ・支部長：伊集院 良憲（沖縄東邦）
- ・副支部長：山内 一姫（琉薬）
- ・理事：翁長 真一郎（アトル）
- ・監事：春田 崇彰（ダイコー沖縄）
- ・監事：比嘉 義太（スズケン沖縄薬品）
- ・事務局：鈴鹿 玲子（沖縄東邦）

連絡事項1：実務実習薬学生受け入れについて
受け入れの際に、指導薬剤師の付き添いがない。事故など、トラブル発生時の責任の所在が心配。連絡先も分からぬ。

→・卸実習における事故・トラブルの責任は負えない。

- ・トラブル等連絡が取りたいときのために、指導薬剤師の連絡先を実習生名簿と一緒に

情報提供してもらいたい。

連絡事項4：今年度研修会について

- ・日本医薬品卸勤務薬剤師会の令和7年度の継続研修のテーマは「医療用麻薬の適正使用」となった。
- ・沖縄県支部の研修として「災害に関する研修会」を昨年度に引き続き開催。沖縄県卸業協会と合同開催。講師は藤田医科大学防災教育センター副センター長 和泉邦彦先生に依頼予定。
- ・最後に、ベテランの先生方が退会され、コロナ禍を経験し、人手不足、業務の増加等様々な問題もあり、以前のように実際に会つての人間関係を作っていくようなお付き合いが出来なくなってしまっている。卸勤務薬剤師としてだけでなく、同じ薬剤師の仲間として協力体制の強化を依頼し、閉会となった。

ぶれいくたいむ

沖縄タイムス 令和7年9月8日（月）掲載

薬剤師の仕事に挑戦

那覇 琉球光和が体験会

【那覇】医療機器販売などを手がける琉球光和（那覇市、秦一社長）は8月17日、那覇市宇栄原の和ごころ薬局さつき店で「親子やくざいし体験会」を実施した。小学生と保護者約50組が調剤などに挑戦し、薬局や薬剤師の仕事について理解を深めた。

参加児童は白衣に身を包み、お菓子やジュースを使って模擬薬を作った。錠剤を分類して服用するタイミングごとに包装する「分包機」を操作したり、薬局や薬の飲み方についてのクイズに



答えたりした。最後は修了証を受け取った。中城南小2年の新城安豊さんは「錠剤を入れるのは楽しかったけど、軟こうを混ぜて入れるのが難しかった。将来はバスケットボール選手になりたいけど、薬剤師もいいな」と話した。
(社会部・又吉嘉例)

薬剤師の仕事を模擬体験する参加者
者＝8月17日、那覇市宇栄原
こころ薬局さつき店（琉球光和・和
供）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

薬事情報おきなわ No. 286

2025年8・9・10月号 : Vol. 40 No. 3

薬事情報センター TEL : 098-963-8931
FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2025年7月16日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内用薬	バルバーサ錠 3mg (EF3)	3mg1錠	31,810.40	ヤンセン ファーマ	エルダフィチニブ:抗悪性腫瘍剤/FGFR阻害剤(がん化学療法後に増悪したFGFR3遺伝子変異又は融合遺伝子を有する根治切除不能な尿路上皮癌)(新有効成分)
	バルバーサ錠 4mg (EF4)	4mg1錠	41,501.70		
	バルバーサ錠 5mg (EF5)	5mg1錠	51,009.70		

●新医薬品 2025年8月14日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内用薬	ペルスピティ錠2mg (ETR 2)	2mg1錠	4,792.80	ファイザー	エトランモド L-アルギニン:スフィンゴシン 1-リン酸受容体(S1P _{1,4,5})調節薬(中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療(既存治療で効果不十分な場合に限る))(新有効成分)
	リアルダ錠600mg (S6)	600mg1錠	96.10		メサラジン:潰瘍性大腸炎治療剤(潰瘍性大腸炎(重症を除く))(新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中でないもの))
	ウェリレグ錠40mg (177)	40mg1錠	21,916.80		ペルズチファン:抗悪性腫瘍剤/HIF-2 α 阻害剤(フォン・ヒンペル・リンドウ病関連腫瘍/がん化学療法後に増悪した根治切除不能又は転移性の腎細胞癌)(新有効成分)
	オブフォルダカプセル65mg (AT2221)	65mg1カプセル	6,038.20		ミグルスタッフ:ボンペ病治療用酵素安定化剤(遅発型ボンペ病に対するシマグルコシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)との併用療法)(新効能・新用量・剤形追加に係る医薬品(再審査期間中でないもの))
注射薬	アネレム静注用20mg	20mg1瓶	1,540	ムンディ ファーマ	レミマゾラムベシル酸塩:全身麻酔・鎮静用剤(全身麻酔の導入及び維持/消化器内視鏡診療時の鎮静)(新効能・新用量・剤形追加医薬品(再審査期間中のもの))
	エアワイン皮下注用45mg	45mg1瓶	1,082,630		ソタデルセプト(遺伝子組換え):アクチビングナル伝達阻害剤(肺動脈性肺高血圧症)(新有効成分)
	エアワイン皮下注用60mg	60mg1瓶	1,441,677	MSD	
	ボムビリティ点滴静注用105mg	105mg1瓶	204,251	シバグルコシダーゼ アルファ(遺伝子組換え):遺伝子組換えボンペ病治療剤(遅発型ボンペ病に対するミグルスタッフとの併用療法)(新有効成分)	
	タービー皮下注3mg	3mg1.5mL1瓶	146,284	ヤンセン ファーマ	トアルクエタマブ(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤/二重特異性抗体製剤(再発又は難治性の多発性骨髄腫(標準的な治療が困難な場合に限る))(新有効成分)
	タービー皮下注40mg	40mg1mL1瓶	1,879,962		



●薬局に業務停止処分 処方箋なしに処方箋医薬品販売 (PHARMACY NEWSBREAK7月16日)

処方箋がない者に処方箋医薬品を販売したなどとして、大阪市は14日、医薬品医療機器等法に基づき、市内の薬局に薬局業務の停止を命じたと発表した。業務停止期間は45日間。

処分を受けた薬局はGU薬局。市によると、同薬局では今年3月18日～5月23日の間、処方箋を持たない者延べ296人に処方箋医薬品を販売した。販売した品目は糖尿病治療薬、高脂血症治療薬、高血圧症治療薬など計66品目（規格違い含む）に上る。中には内服薬で1人当たり最大20箱程度、外用薬で1人当たり最大40個程度を販売したケースもあったという。今回の不正は厚生労働省に寄せられた通報に基づき、大阪市が同薬局に立ち入り検査を行ったことで発覚した。

●18歳未満の一定数量購入禁止と実効的対応組み合わせ省令化 (薬事日報8月18日)

厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会は7年度第2回会合で、指定濫用防止医薬品の販売について議論し、厚生労働省による『一定数量以上の購入を禁止等する年齢を踏まえた対応の方向性』を確認した。濫用防止薬の大容量製品・複数購入を禁止する販売規制の導入では、18歳未満へと引き下げる一方、市販薬の濫用実態を勘案した年齢に関わらない実効的対応を重視しており、購入時の確認をはじめとした専門家による徹底した関与が省令で求められる見通しにある。

●八尾の薬局に業務停止16日-非薬剤師が散剤を秤量 (薬事日報8月18日)

大阪府八尾市は14日、薬剤師でない者に散剤の秤量等の調剤をさせていたとして、医薬品医療機器等法違反でキリン薬局八尾店に対し、15日から30日までの16日間、業務停止の行政処分を命じた。市によると、同薬局では非薬剤師の薬局事務員が管理薬剤師の指示のもと、散剤の記載のある処方箋を見て、薬瓶から散剤を秤量していた。

●全国のD&Sで悩み抱える子どもに寄り添う運動展開 (薬局新聞8月25日)

日本チェーンドラッグストア協会（JACDS）は会員企業に呼びかけ、全国のDgSで子どもの悩みに寄り添う運動に着手する。こども家庭庁の『こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム』に協力するもので、市販薬オーバードーズ（OD）・指定濫用防止薬をめぐる対応も絡め、日常的に利用されるDgSの店舗特性を活かして悩みを抱える子どもの相談窓口的な活動を目指す。

●厚労省～調剤費8.4兆円と過去最高-後発品割合は90%突破 (薬事日報9月1日)

厚生労働省は8月29日、2024年度の調剤医療費（電算処理分）が前年度比1.6%増の8兆4008億円と過去最高を更新したと公表した。技術料は3.5%増の2兆3251億円、薬剤料は処方箋枚数が伸びたことで0.9%増の6兆0592億円と増加した。後発品割合は、昨年10月に実施された長期収載品の選定療養化による効果で24年度末の数量ベース（新指標）が5.4ポイント増の90.6%と90%を突破した。

●緊急避妊薬OTC化を了承-薬剤師の面前服用が要件 (薬事日報9月1日)

薬事審議会要指導・一般用医薬品部会は8月29日、あすか製薬の緊急避妊薬「ノルレボ」（一般名：レボノルゲストレル）について、医薬品医療機器等法に基づき薬剤師の対面販売が必要な「特定要指導医薬品」として製造販売承認することを了承した。年齢制限は設けない一方、承認条件として16歳未満や性犯罪被害が疑われる人への販売対策等を求めた。

●個店の不遵守目立つ医薬品販売制度実態調査受け改善誓う (薬局新聞9月4日)

日本薬剤師会は厚生労働省が8月22日に公表した令和6年度医薬品販売制度実態把握調査結果について、定例会見で、会内で進める自己点検を引き続き徹底する姿勢を強調した。今回の調査結果において近年遵守率の低さが指摘されてきた濫用等の恐れのある医薬品の複数購入の販売対応で、適切だった薬局・店舗販売業は前年比7.6ポイント増の88.4%と改善しているが、適切率は独立店が63.2%（8.4ポイント増）だったのに対し、チェーン店は88.7%（6.9ポイント増）と、いわゆるドラッグストアチェーンが大きく上回っており、問題となる『質問等されずに購入できた』はチェーン11.3%に対して独立店は36.8%確認された。

●厚労省～地域フォーミュラリ18件-中心主体最多は薬剤師会 (薬事日報9月22日)

地域フォーミュラリの策定が18件、地域フォーミュラリを1件以上策定している都道府県が12府県に上ることが、厚生労働省の調査で明らかになった。参加主体、中心的役割を果たす主体で見ると薬剤師会が最も多く、フォーミュラリの対象となる医薬品はプロトンポンプ阻害剤、HMG-CoA還元酵素阻害薬、アンジオテンシンII受容体拮抗薬などが挙げられた。

●在宅業務は「赤字」で推進には「一層のインセンティブ」必要 (薬局新聞9月22日)

日本保険薬局協会（NPhA）は2026年度診療報酬改定に向け、このほど在宅業務の評価に関する要望事項を公表した。NPhAは在宅訪問薬剤管理について、「現行の評価では推進どころか現状維持も困難」と指摘しており、運営コストに見合った持続可能な業務に対する評価として「一層の推進に対するインセンティブとなる報酬体系を求めていく」構えにある。

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業



共有すべき事例

2025年
No.7
事例1

調剤

薬剤取り違え



事例

【事例の詳細】

70歳代の患者に、【般】アログリブチン安息香酸塩/メトホルミン塩酸塩配合錠 1回1錠 1日1回朝食直前が処方されイニシング配合錠を交付していた。今回、【般】アナグリブチン/メトホルミン塩酸塩配合錠 1回1錠1日2回 朝夕食直前に変更された。薬局スタッフは薬剤の変更に気付かず、これまでと同じイニシング配合錠を用法のみ1回1錠1日2回朝夕食直前に変更してレセプトコンピュータに入力した。調製、鑑査を行った薬剤師も処方薬の変更に気付かず、イニシング配合錠を患者に交付した。後日、医療機関からの連絡により、処方とは異なる薬剤を交付したことが判明した。

【背景・要因】

薬局スタッフ、薬剤師ともに配合剤の有効成分の違いに気付かなかった。処方医が糖尿病の専門医であるため、間違はないだろうとの思い込みがあり、用法及び用量を確認しなかった。患者数が多い午前中の多忙な時間帯であり、患者からの聴取が不十分であった。

【薬局から報告された改善策】

一般的名称で処方された薬剤をレセプトコンピュータに入力する際は、有効成分の名称を一文字ずつ突合し、選択された薬剤が正しいか確認する。処方監査する際は用法を確認し、用法が添付文書と異なる場合は薬剤名を正しく認識しているか再確認する。



その他の情報

販売名	イニシング配合錠	メトアナ配合錠LD/HD
有効成分	アログリブチン安息香酸塩/メトホルミン塩酸塩	アナグリブチン/メトホルミン塩酸塩
薬効分類名	選択的DPP-4阻害薬/ビグアナイド系薬配合剤	
用法及び用量	通常、成人には1日1回1錠（アログリブチン/メトホルミン塩酸塩として25mg/500mg）を食直前又は食後に経口投与する。	通常、成人には1回1錠（アナグリブチン/メトホルミン塩酸塩として100mg/250mg又は100mg/500mg）を1日2回朝夕に経口投与する。

(2025年5月21日現在)



事例のポイント

- 本事業には、一般名処方マスターに記載されていない薬剤が一般名処方された際に、薬剤を取り違えた事例が報告されている。本事例のイニシング配合錠とメトアナ配合錠は、2025年5月現在、後発医薬品が販売されておらず、厚生労働省の作成する一般名処方マスターに記載されていない薬剤である。
- 一般名処方された薬剤の取り違えを防ぐためには、入力者、調製者ともに、処方箋に記載された有効成分の名称を一文字ずつ確認する必要がある。継続中の薬物治療であっても、前回と同じ薬剤が処方されたと安易に判断せず、慎重に処方監査を行うことが重要である。
- 本事例では、イニシング配合錠の用法として「1回1錠1日2回」が不適切であることに薬剤師が気付けていたら、薬剤の取り違えを防げた可能性がある。配合剤の取り違えを防ぐためには、一般的な名称と販売名、用法、用量などを整理した一覧表を作成し、処方内容と照合しながら処方監査・調製・鑑査を行うことが有用である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0281 (直通) FAX: 03-5217-0253 (直通)
<https://www.yakkoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

2025年
No.8
事例1

共有すべき事例

調剤

不適切な薬剤変更



事例

【事例の詳細】

整形外科から患者にツートラム錠50mg 1回1錠1日2回朝夕食後が処方されたが、当薬局には在庫がなかった。薬局スタッフは、薬局に在庫があり有効成分が同じ薬剤をレセプトコンピュータで検索し、表示されたトラマドール塩酸塩OD錠50mg「KO」を入力した。調製者もトラマドール塩酸塩OD錠50mg「KO」を取り揃えた。鑑査者が、ツートラム錠50mgの後発医薬品は販売されていないことに気付き、ツートラム錠50mgを調達するよう調製者に伝えた。

【背景・要因】

ツートラム錠50mgと有効成分が同じ薬剤をレセプトコンピュータで検索した際、後発医薬品のリストにトラマドール塩酸塩OD錠50mg「KO」が表示されたため、入力者はトラマドール塩酸塩OD錠50mg「KO」への変更調剤が可能であると思い込んだ。

【薬局から報告された改善策】

今回の事例を職員全員で共有し、ツートラム錠50mgは徐放性製剤であり、即放性製剤であるトラマドール塩酸塩OD錠50mg「KO」には変更調剤できないことを周知した。



その他の情報

薬剤名	ツートラム錠 25mg/50mg/100mg/150mg	トラマドール塩酸塩OD錠 25mg「KO」/50mg「KO」
有効成分	トラマドール塩酸塩	
効能または効果	非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛 慢性疼痛 痛みを伴う各種がん	
剤形	徐放性製剤	即放性製剤
用法・用量	1日100～300mgを 2回に分割経口投与	1日100～300mgを 4回に分割経口投与

(2025年6月21日現在)



事例のポイント

- トラマドール塩酸塩を含有する単剤の経口剤は、1日4回投与の即放性製剤の他に、1日1回投与と1日2回投与の徐放性製剤が販売されており、ツートラム錠は1日2回投与の徐放性製剤である。
- 薬剤の不適切な変更を防止するには、変更前、変更後の薬剤の効能・効果、用法、用量、製剤的特性などを添付文書で確認し、照合することが重要である。
- 本事例の他にも、徐放性製剤を調剤すべきところ有効成分が同じという理由のみで即放性製剤への不適切な変更を行った事例や、その不適切な変更調剤に気付かず患者に交付した事例が本事業に報告されている。
- 販売名から徐放性製剤であることの判別が難しい薬剤のうち、同成分の即放性製剤が販売されている薬剤には、ツートラム錠の他に、ワントラム錠（トラマドール塩酸塩）、グラセプターカプセル（タクロリムス水和物）などがある。これらの薬剤について薬局内で情報を共有しておくことが望ましい。



公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0281 (直通) FAX: 03-5217-0253 (直通)
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくなるため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

◇ medicina 62巻7号

*精神科×内科 患者と家族を支えるために知っておきたい見えない“こころ”的こと

◇ medicina 62巻8号

*呼吸器問題集 呼吸器疾患の糸口とミニマムエッセンスを知る

◇ medicina 62巻9号

*アクションに繋げる能動的心電図読影 プライマリ・ケア医のための実践知

◇ medicina 62巻10号

*続・臨床に役立つ解剖・生理学

◇月刊薬事 67巻9号

*短期集中！在院日数短縮時代にどう適正化する？動脈硬化性疾患患者への療養支援ガイド

◇月刊薬事 67巻10号（臨増）

*ハイリスク薬のリスクマネジメント

◇月刊薬事 67巻11号

*早期発見から治療継続につなげる 認知機能低下・認知症のある人のケア

◇月刊薬事 67巻12号

*病態生理がわかれればマネジメントがわかる！心不全の「なぜ？」

323学ぶ更年期外来診療のポイントー

◇総合診療 35巻7号

*おなかの病気を診る～機能性消化器疾患への誘いつらいおなかの痛み、張り、下痢、便秘への処方箋

◇総合診療 35巻8号

*パーキンソン病大全 あなたのギモンに答えます！

◇総合診療 35巻9号

*画像検査との“上手な”つきあい方 知っておきたい画像検査・画像診断のアレコレ

◇調剤と情報 31巻9号

*薬剤師なら知っておきたい はたらく肝臓

◇調剤と情報 31巻10号（臨増）

*新・薬物アレルギーの教科書

◇調剤と情報 31巻11号

*骨卒中のリスクに備える 生活習慣病・慢性疾患と骨

◇調剤と情報 31巻12号

*高尿酸血症患者に対するライフスタイル指導

◇治療 107巻8号

*【第1特集】総合診療を語り明かす【第2特集】市販薬のオーバードーズ

◇治療 107巻9号

*【第1特集】働く世代の健康管理と就業調整【第2

特集】月経痛・PMSを診よう

◇治療 107巻10号

*【第1特集】予防＆フォロー がん診療【第2特集】生成AIを使いこなす道筋

◇日経ドラッグインフォメーション 332号

*オレキサント時代の不眠症治療

◇日経ドラッグインフォメーション 333号

*ポリファーマシー解決 5つの視点

◇日経ドラッグインフォメーション 334号

*今こそ見直せ 高血圧の関わり方

◇日経ドラッグインフォメーション 335号

*副作用リスクを回避せよ 高齢者×薬

◇日本医事新報 5277号

*“とりあえず鉄剤”を卒業する！ 日常診療で困らない貧血のみかた

◇日本医事新報 5279号

*血液検査について考え直す

◇日本医事新報 5280号

*供給不足でも迷わない！ 抗菌薬代替療法

◇日本医事新報 5282号

*熱中症の新しい重症度分類とⅢ度4・Ⅳ度の治療戦略

◇日本医事新報 5284号

*まとめてみました！ 喘息治療薬

◇薬局 76巻8号

*スペシャリスト厳選！ 定番ベスト漢方薬

◇薬局 76巻9号

*【第1特集】点鼻薬・点耳薬の図鑑【第2特集】耳鼻咽喉科のトビラ 一解剖生理から薬学管理までまるわかりー

◇薬局 76巻10号

*病態把握のための読影入門ー胸部・腹部編

【今月の論文等】

■薬物療法■

►えびさんぽ(44) 季節性アレルギー性鼻炎の治療には、どんな薬を選べばよいですか？ 治療107(9) p.6, 116

►日常診療で役立つ 皮膚科治療薬の選びかた・使いかた⑯

抗ヘルペスウイルス薬② 带状疱疹(前編)

Medicina62(7) p.933

► " ⑯ 抗ヘルペスウイルス薬③ 带状疱疹(後編) Medicina62(8) p.1123

► " ⑯ 抗ヘルペスウイルス薬④ 単純ヘルペス Medicina62(9) p.1299

▶ " ② 抗菌薬① 抗菌薬が有効な皮膚疾患
Medicina62 (10) p.1523

■新薬■

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み
[57] エフルエルダ®筋注 (高用量インフルエンザ
HA ワクチン)
月刊薬事 67 (9) p.155

▶ " [58] ビルタサ®懸濁用散分包 8.4g (パチロ
マーソルビテクスカルシウム)
月刊薬事 67 (11) p.158

▶ " [59] スリンダ®錠 28 (ドロスピレノン)
月刊薬事 67 (12) p.131

■安全性情報■

▶ NSAIDs に追記された心筋梗塞の副作用
日経ドラッグ インフォメーション (332) p.PE037

▶ビラノアとの飲み合わせに注意すべき生活習慣病治療薬
日経ドラッグ インフォメーション (333) p.PE033

▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・糖尿病治療薬の認知症発症リスクへの影響
・糖尿病治療薬の高カリウム血症リスクの比較
薬局 76 (8) p.96

▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・キシリトールで心血管リスクが上昇する?
・BRAF 阻害薬でぶどう膜炎のリスク上昇
薬局 76 (9) p.100

▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・味覚障害の原因は亜鉛とは限らない
・服薬順守率は高血圧 > 糖尿病 = 脂質異常の順
薬局 76 (10) p.90

▶構造式で語る医学 | 薬物の交差反応や意外な副作用
を学ぼう！ 7
その薬剤は腸管吸収されますか？
総合診療 35 (7) p.822

▶ " 8 グルコースと似た構造をもつ医薬品
総合診療 35 (8) p.950

▶ " 9 核酸 (ピリジミン塩基) に似た構造の医薬品
総合診療 35 (9) p.1084

▶調剤から投与時まで：簡易懸濁法における経管投与
時のリスクマネジメント
月刊薬事 67 (9) p.63

■薬剤師業務■

▶高尿酸血症患者に対するライフスタイル指導～むり
させすぎない“禁酒・禁煙・運動”のエビデンス
調剤と情報 31 (12) p.27

▶ハイリスク薬：統合失調症治療薬の投与管理
月刊薬事 67 (9) p.216

▶ハイリスク薬：インスリン製剤の管理と患者教育
月刊薬事 67 (9) p.227

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み
[57] エフルエルダ®筋注 (高用量インフルエンザ
HA ワクチン)
月刊薬事 67 (9) p.155

▶ " [58] ビルタサ®懸濁用散分包 8.4g (パチロ
マーソルビテクスカルシウム)
月刊薬事 67 (10) p.158

▶ " [59] スリンダ®錠 28 (ドロスピレノン)
月刊薬事 67 (12) p.131

▶誰でもデキる臨床研究 リアルワールドデータで学会
発表、論文執筆 [15] 論文作成のお作法・日本語の
書き方
月刊薬事 67 (9) p.150

▶ " [16] 論文投稿時、投稿後 (登録、査読への
対応)
月刊薬事 67 (11) p.136

▶ " [17] SNS を活用するメリット
月刊薬事 67 (12) p.136

▶市販薬の不適切使用に対して薬局薬剤師にできること
治療 107 (8) p.88

▶ガイドラインではわからない患者・家族の大切なも
ののための 緩和ケア薬の使い方 [10]
がん治療医が思わず見入ってしまう患者による副作
用の症状日誌
月刊薬事 67 (9) p.144

▶ " [11] 患者は世の中のどんながん情報をみて
いるのか？
月刊薬事 67 (11) p.146

▶ " [12] AI を使い始めた患者にどう対応すべき？
月刊薬事 67 (12) p.140

▶ポリファーマシー対応で減薬したら怒られました！
～薬を減らすだけが正解ではない～
調剤と情報 31 (9) p.109

■漢方療法■

▶ぐっとよくなる！ 漢方処方快訣ビフォーアフター
<第19回> 多様化するがん治療とその副作用 “支
持療法” だけではない漢方の活用法
薬局 76 (8) p.122

▶ " <第20回> 片頭痛の漢方治療 多くの選択肢
からどのように絞り込むか？
薬局 76 (9) p.112

▶ " <第21回> OTC 医薬品と医療用製剤の使い方
の違い
どのような時に専門家のアドバイスが必要か？
薬局 76 (10) p.123

■在宅医療■

▶在宅における認知症患者さんの薬剤管理～患者・家
族の想いに寄り添う包括的支援のあり方
月刊薬事 67 (11) p.85

■その他■

▶みみ・はな・のどに使う OTC 外用剤などの関係情報
薬局 76 (8) p.122

▶薬局で活用できる骨折予防予測ルール
調剤と情報 31 (11) p.53



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

[質問] 台湾に1週間ほど滞在します。糖尿病治療のため、インスリンを1本持っていくことはできますか？

[回答] はい、台湾へインスリンを1本持つて行くことは可能です。糖尿病の治療に必要なインスリンや注射器は、国際線でも機内への持ち込みが認められています。スムーズな保安検査のため、以下の準備をしておくことをお勧めします。

1. 診断書または証明書：糖尿病の治療中であること、および処方薬の名称と量が記載された英文の書類を医師に作成してもらってください。

2. お薬手帳や処方箋の写し：薬の内容や使用方法がわかるものを携帯しておくと安心です。3. 保冷バッグ：インスリンは温度変化に弱いため、凍結や高温を避けるための保冷バッグなどに入れて持ち運びましょう。

[質問] 歯科でもらった「オルテクサー口腔用軟膏」（一般名：トリアムシノロンアセトニド）を、口の中ではなく、普通の皮膚に塗っても大丈夫ですか？

[回答] 「オルテクサー口腔用軟膏」は、口の中の粘膜に成分がしっかりと留まるように作られています。そのため、普通の皮膚に塗っても、期待する効果が得られるかは不明です。

また、口の中の粘膜は皮膚よりも薬の吸収が良いので、皮膚に塗った場合の効果や副作用は予測が難しいです。皮膚の症状には、皮膚の治療を目的としたお薬を使うのが適切です。

皮膚科を受診するか、お近くの薬店に相談することをお勧めします。

●安全性情報●

[質問] 集中力の低下や物忘れがあり、発達障害かもしないと思い、病院を探しています。薬についても調べたのですが、コンサータとビバンセは副作用が強いと知ったので避けたいです。医師が処方してくれるかは分かりませんが、ストラテラとインチニブの副作用について教えてください。

[回答] ストラテラとインチニブは、どちらも脳内の神経伝達物質に働きかけ、発達障害の症状を改善するお薬です。それぞれの主な副作用は以下のようなものが報告されています。

1. ストラテラ

頭痛22%、食欲減退15%、傾眠14%、腹痛12%、その他に悪心・嘔吐、下痢や便秘などが報告されています。

2. インチニブ

傾眠57%、頭痛12%、倦怠感7%、その他にめまいや腹痛、口の渇きや食欲減退などが報告されています。

副作用の現れ方には個人差があります。受診の際は、ご自身の症状や薬の副作用に対する不安な気持ちを、医師にお伝えください。

参考：ポケット医薬品集2025年版（南山堂）

[質問] ダイエット目的で美容外科からオゼンピックを処方され、使用しています。体重は減りましたが、便秘がひどくて困っています。1日3食、腹八分目を心がけていますが、下剤を飲まないと1週間ほど便が出ません。

病院に相談しても、「食べる量が減ったから」と言われるだけです。他の病院に相談すべきでしょうか？

[回答] オゼンピックは、血糖値を下げる効果に加え、食欲を抑え、胃腸の働きをゆっくりにする作用があります。そのため、服用開始の比較的早い段階で、ご質問にあるような便秘などの消化器系の副作用が起こることが知られています。お悩みの便秘は、食事量の減少だけでなく、薬の副作用である可能性も高いと考えられます。現在の病院で十分に相談ができない場合は、セカンドオピニオンとして消化器内科や内科を受診することをお勧めします。薬による便秘は、下剤の種類を変えたり、量を調整したりすることで改善されることがあります。一人で悩まず、別の医療機関でのご相談もご検討下さい。

[質問] 普段飲んでいるジルムロ配合錠LDとロスバスタチンと、サプリメントとの飲み合わせについて教えてください。飲んでいるサプリメントにシトラス果実の成分やグレープフルーツ抽出物が含まれているのですが、血圧のお薬との飲み合わせが良くないと聞きました。また、高麗ニンジンの成分（ジンセノサイド）と血圧のお薬との飲み合わせについても教えてください。最近の血圧は110/70mmHgくらいで安定しています。

[回答] 現在服用中のジルムロ配合錠LDとグレープフルーツの成分は、飲み合わせに注意が必要です。グレープフルーツの成分は薬の作用を強めてしまい、血圧が下がりすぎるリスクがあるため、併用は避けてください。また、高麗ニンジンの成分にも血圧を下げる働きが報告されており、血圧のお薬との影響ははっきりしていません。血圧が安定しているとのことですが、安全のため、これらのサプリメントの服用は控えるのが良いでしょう。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

【質問】3歳の子どもが、昨日から発熱と痰があり、病院で五虎湯を処方された。昨日の昼・夕・今朝と計3回服用したが、昨夜9時頃から尿が出てなくて心配している。薬を調べたら排尿障害の副作用があると書いてあったが、3回しか飲んでいなくても、このような副作用は出るのでしょうか？また、漢方薬が体から抜ける時間はどれくらいか分かりますか？

【回答】五虎湯に含まれる生薬（主に甘草）の影響で、まれに体内に水分がたまり、尿が出にくくなる「偽アルドステロン症」という重い副作用が起こる場合があり、体液の貯留やむくみ（浮腫）など、体の水分が排泄されにくくなる症状が現れます。服用回数が少なくとも、お子さんの体質や体調によっては、このような症状が発現する可能性はあります。漢方薬が体から抜けるまでの時間については、多くの生薬から成り立っているため、全ての成分の排泄時間を示すデータは非常に少ないのが現状です。一般的に、漢方薬の種類によって主要成分の体から抜ける時間にも大きなばらつきがあり、個人差も大きいです。しかし、現在のお子さんの症状（尿が出ていない）は緊急性が高いため、薬が抜ける時間を持つという考え方は危険です。副作用かどうかに問わらず、すぐに処方医または小児科などの医療機関を受診してください。

【質問】自律神経の不調でお腹を壊すことが多く、A病院で精神科の薬とビオフェルミンを、B病院で糖尿病と高血圧の薬とミヤBMをもらっています。精神科の病院では「一緒に飲んでも大丈夫」と言われたのですが、心配です。

【回答】ビオフェルミンとミヤBMは、どちらも腸内環境を整える「整腸剤」です。それぞれ異なる種類の善玉菌を補うことで効果を発揮します。これらの薬は、異なる菌種が配合されているため、併用しても特に問題はありません。むしろ、複数の種類の菌を同時に摂ることで、より高い整腸効果が期待できる場合もあります。処方医の指示通り、安心して服用してください。

【質問】20歳の娘のことで相談です。19歳の時に、期限切れのB型肝炎ワクチンを接種してしまいました。この事が心配なんですが、どこに相談したらいいですか。

【回答】期限切れのB型肝炎ワクチンを接種した場合、直接的な健康被害につながる可能性は低いとされています。しかし、期限を過ぎると有効性が低下し、十分な免疫が得られない可能性があります。

今後の対応については、以下のような窓口に相談され

ることをお勧めします。

主な相談窓口

- ・接種を受けた医療機関
- ・厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口
- ・お近くの保健所

●妊婦・授乳婦●

【質問】妊娠を考えています。うつ病の治療でアリピプラゾールを飲み始めたのですが、このまま飲み続けても大丈夫ですか？

【回答】アリピプラゾールは、妊娠中や授乳中の方への投与も可能とされているお薬です。服用を自己判断で中止したり、量を減らしたりすると、うつ病の症状が悪化する可能性があります。妊娠を希望している場合は、お薬の服用について早めに主治医と相談されることをお勧めします。

【質問】咳が止まらず病院を受診したら、アジスロマイシンという薬を処方されました。現在授乳中ですが、服用しても大丈夫ですか？

【回答】アジスロマイシンは、母乳に移行する量はごくわずかであり、赤ちゃんへの影響はほとんどないと考えられています。そのため、授乳中でも服用は可能です。念のため、服用中は、赤ちゃんの様子をよく観察してください。機嫌や哺乳量、下痢や皮膚の紅潮など、いつもと違う様子が見られたら、小児科などの専門の病院にご相談ください。

●ドーピング●

【質問】県外プロチームが来県予定です。チームにいる外国人選手が、「ドーピング検査キット」（内容不明）を持ち込む予定で、このキットを使って検査できる医療機関を紹介してほしいと言っています。そういった機関があれば教えてください。

【回答】ドーピング検査は、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が認定した分析機関でなければ公式な検査として認められません。日本国内には、WADA認定機関が1か所ありますが、倫理規定により、個人や団体からの検査依頼は受け付けていません。また、仮にお持ち込みの検査キットを使って検査できたとしても、WADA認定分析機関以外での分析によって得られた結果は公式な記録としては認められないと考えられます。これらの理由から、ご希望の医療機関をご紹介することは困難です。お問い合わせの件については、この内容でご回答いただいて問題ないかと思います。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

[質問] 国体出場予定の未成年競技者の親です。ADHD治療のためビバンセカプセル（一般名：リスデキサンフェタミンメシル酸塩）を服用中です。この薬は競技会時禁止となっていますが、国体30日前までにTUE申請をするべきですか？

[回答] はい、TUE申請は必要です。ビバンセカプセルはドーピング禁止物質を含んでいます。また、国体は「国内最高レベルの競技会」に該当するため、原則として大会の30日前までに日本アンチ・ドーピング機構（JADA）に申請する必要があります。

TUE申請には、医師の診断書など多くの書類が必要となり、準備に時間がかかります。まずはJADAのウェブサイトを確認し、早めに準備を進めることをお勧めします。

●その他の質問●

[質問] オーバードーズを繰り返す子どもについて相談です。市販薬の入手が難しくなり、現在はネットで購入しているようです。薬剤師会でこのような相談を受けていますか、また、相談できる場所や医療機関を紹介してもらえますか？

[回答] オーバードーズは命に関わる問題であり、専門家への相談が不可欠です。薬剤師会では、直接的な治療やカウンセリングは行っていませんが、適切な医療機関や相談窓口を紹介しています。オーバードーズは依存症の一種であり、専門的な治療が必要です。お住まいの地域の精神保健福祉センターや都道府県の薬物相談窓口では、専門的な知見から具体的なアドバイスを受けることができます。お子さんご本人が受診をためらうようであれば、まずは保護者の方が先に相談に行き、今後の対応についてアドバイスをもらうことも可能です。

[質問] 湿布薬や腰痛に使うローションが、保険がきかなくなると聞きました。本当ですか？誰もが使うお薬なのに、富裕層だけが使うわけではないですよね？

[回答] 現在、国において、一部の湿布薬や外用鎮痛消炎薬（ローションなど）を保険適用から外すことが検討されています。これは、増大する国民医療費を抑制することが主な目的です。特に、市販薬（OTC医薬品）としても購入できる薬が検討の対象となっています。ご指摘の通り、これらの薬は富裕層だけでなく、多くの患者様が治療に必要としています。

そのため、今後の議論では、患者様の負担が大きくならないよう、どのような薬を対象とするか、慎重に検討が進められています。まだ正式に決定したものでは

ありませんので、この件に関する最新の情報は、厚生労働省などの公的な情報源をご確認ください。

[質問] 今流行している結膜炎ですが、子どもが学校のプールに入っても大丈夫でしょうか？症状が出ていない子も、プールに入らない方が良いですか？

[回答] 結膜炎の多くは感染力が非常に強く、特にプールの水を介して感染が広がりやすい病気です。このため、症状が出ていたりお子さんは、プールに入るのを控えてください。結膜炎にかかった場合は、「学校保健安全法」という法律に基づき、医師が感染の恐れがないと判断するまで出席停止となります。これは、症状が治まっても感染力が残ることがあるためです。症状が出ていないお子さんについても、ご家族に結膜炎の方がいる場合、感染している可能性も考えられますので、プールの利用を控えることをお勧めします。症状が少しでも現れた場合は、早めに医療機関を受診してください。

[質問] 医療機関や薬局では、医療用の不織布マスクを使っているのをよく見かけますが、布マスクではダメなのでしょうか？何か指定されているものはありませんか

[回答] 医療機関や薬局で使用するマスクに、法律などで特定のものが義務付けられているわけではありません。しかし、不織布マスクは、布マスクに比べて微細な粒子やウイルスを含んだ飛沫を捕まえ、防ぐ効果がより高いとされています。そのため、感染症対策の観点から、感染リスクの高い医療現場では、性能の高いサーナカルマスクや不織布マスクが一般的に使われています。布マスクも飛沫の飛散を防ぐ効果はあるため、日常生活での使用には問題ありません。状況や目的に合わせて使い分けることが大切です。

- ・イグザレルトOD錠から普通錠に変わった。副作用かどうかわからぬけど、血の塊がどこかで詰まつたりしないか心配。嫌なことを考えてしまう。
- ・新聞に掲載されていた新型コロナウイルスワクチンの記事について、ご意見を聞かせてください。その記事には、東京大学の研究チームが、「ワクチン接種が3ヶ月遅れていたら、国内の死者が2万人以上増えている。また、ワクチンに関する誤情報を信じなければ、431人の死亡を防げた」という結果が示されていました。これまで6回接種していますが、来週の病院受診を前に、今回の記事を読んで接種を続けるべきか迷っています。

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

認知症の当事者から薬剤師さんに伝えたいこと

月刊薬事 8月号

私は認知症と診断されてから地域包括支援センターや役所などの機関と関わるようになりました。そのなかでよく感じるのが、「私のことなのに、家族ばかりに話しかける人が多い」ということです。介護保険を使うのは私なのに。薬の飲み忘れについても、薬剤師さんから「きちんと飲んでくださいね」と言われることが多いのですが、それがプレッシャーになることもあります。間違って重複して飲んでしまったことがあります。スマートフォンのアラームなど、身近なIT機器を使うことで薬の飲み忘れを防ぐ工夫ができます。薬剤師さんからそういったアイデアを提案していただけると、とても助かります。薬剤師さんには、ぜひ薬の説明を「当事者に」、わかりやすく伝えてもらえると、とても助かります。紙に書いてもらった説明は、後から何度も見返すことができ、安心にもつながります。薬のこと、生活のこと、わからないことがあったときに、「この人に相談すれば大丈夫」と思える存在が薬剤師さんであつたら、私たちにとって、心強い味方になります。薬も大切ですが、それ以上に、理解ある環境が何よりの「治療」だと心から思います。

おれんじドア 丹野 智文

学会ビギナーのための学会の歩き方 -日本薬剤師会-

調剤と情報 9月号

初めて学会に参加する薬剤師や薬学生にとって、いろいろと不安も多いはず。ここでは、事前準備から当日の立ち回り、服装、単位取得の注意点まで、初参加でも安心して学会を楽しむための“歩き方”をご紹介します。

1. 参加前にやっておこう！事前準備：興味のあるテーマを軸に、1日3～4セッション+展示見学を目安に予定を立てる。
2. どう動く？会場での立ち回り：
 - ・シンポジウム：実務と学術の両面から掘り下げられ、幅広い視点から話を聴ける。
 - ・口頭発表：現場での取り組み、調査研究、事例報告などを、発表者が順に紹介。
 - ・ポスター発表：発表者と対話できるため、質問や取組の背景まで深く知ることができる。
 - ・展示ブース：電子薬歴の新機能や服薬指導に役立つ資材、在宅対応の機器など一度に体験可。
3. 学会での交流術
 - ・名刺交換は交流のチャンス
4. 学会参加後の振り返りと活用法

一言でもメモしておくと、後日振り返りのヒントになる。職場や仲間と共有して学びを拓げる。

「副作用が出たらどうなるの？」に ちゃんと答えられますか？

月刊薬事 9月号

副作用救済制度は、医薬品医療機器総合機構（PMDA）が運営しています。対象となるのは、医薬品が適正使用されていたにもかかわらず生じた副作用で、入院加療が必要で日常生活に支障が出るレベルが対象となります。（外来治療ができる軽微な発疹などは対象外）。令和6年度の調査ではこの制度を知っている薬剤師はおよそ85%にも及びます。一方で、国民の73%はこの制度そのものを知らないことが明らかになっています。請求する患者さんは、申請期限（5年以内とするものが多い）に診断書や投薬・使用証明書、受診証明書などを病院で受け取ったうえで、申請をPMDAに対して行う必要があることからも、医療者から被害者に対して早めの案内と関係者の連携を行う事がカギとなります。

☆薬剤師が明日からできる3つのアクション

1. PMDAのHPを参考に「副作用救済制度」のことを自分で一度調べてみる
2. 副作用を疑ったとき、報告と同時に救済制度の対象となる可能性を頭の片隅におく
3. 院内で”副作用対応フロー”や申請手続きの支援体制について確認しておく

済生会横浜市東部病院薬剤部
大幸 淳

低用量ピルの使い方・使い分け

治療 8月号

低用量ピルは、避妊効果に加え月経随伴症状の改善効果がある。肌荒れ、ニキビ、多毛の改善効果もあるが、添付文書ではこれらへの適応はない。日本では自費の経口避妊薬（OC）と月経困難症に保険適用される低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬（LEP）の2種類がある。エストロゲンが少ない方が嘔気・頭痛の副作用が少ないとされているが不正出血が起こりやすい。その場合、エストロゲン量を増やすか、不正出血の少ない黄体ホルモンに変更する。○副作用の初期対応①飲み始めから1～3ヶ月は、吐き気、頭痛、乳房の張り、むくみ、気分の変化、不正出血などが起こりやすい。これは、内服を継続すると自然に軽快することが多い。吐気は、就寝前に服用したり制吐薬を併用したりすることもできる。症状が強い場合は、別の低用量ピルに変更すると改善することも多い。②血栓症のリスクはわずかに上昇するが、妊娠中や産褥期のリスクよりも低いことが示されている。血栓症を疑う症状（下肢の痛みや腫れ、胸痛、息切れ、激しい頭痛など）が現れた場合はただちに医療機関を受診するよう説明する。

淀川キリスト教病院 産婦人科
柴田 綾子

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】ジェネリック医薬品リスト 令和7年8月版

【発行】じほう 【発行日】2025年8月 【版型/頁】A5型/約620頁

【定価】3,960円(税込) 【幹旋価格】3,520円(税込)

一般名、商品名のどちらからでも検索可能。成分ごとの適応・用法をコンパクトにまとめ、薬価や製剤特性なども一覧表示。同一成分内の類似剤形・規格違いの製品がひと目でわかる。また、長期収載品の選定療養に関する情報のほか、過去に掲載された一般名処方の標準的記載とコードなどを掲載。

★【日薬幹旋図書】保険薬事典 Plus+ 令和7年8月版

【監修】関 雅文 【発行】じほう 【発行日】2025年8月 【版型/頁】A5判/1,030頁

【定価】5,280円(税込) 【幹旋価格】4,730円(税込)

同一成分の剤形や規格単位ごとの薬価を調べられるだけでなく、「適応・用法」情報も確認することができ、さらに適応外使用に係る公知申請が認められているものについても記載。また、ジェネリック医薬品の適応・用法違いの確認においても最適で、一般名からも商品名からも検索できる医療用医薬品リストの好評定番書籍。

靈夢と魔理沙の臨床統計2 検定・解析編

【編著】堀田 信之 【発行】じほう 【発行日】2025年7月

【版型/頁】A5判/256頁 【定価】3,960円(税込)

YouTubeなどでおなじみの靈夢と魔理沙が教える臨床統計の第2弾。今回のテーマは、論文を読むためにも書くためにも避けて通うことのできない検定・解析。本書では、スチューデントのt検定、相関係数、重回帰分析、カブラン・マイヤー曲線、メタアナリシスなど、よく見る・よく使う用語を一から解説。「そもそも検定って何?」「データはあるが解析手法がわからない」「初心者向けの解析手法を知りたい」など、陥りがちな間違いも含めてこの1冊でわかる。1冊目を読んでいない方もすんなり読むことができる。

術前休薬クイックリファレンス

【編著】赤木 晋介 【発行】じほう 【発行日】2025年6月

【版型/頁】A5判/256頁 【定価】3,850円(税込)

入院・手術が決まった患者の服用薬に関する休薬・再開の目安を素早く確認できる実践的な1冊!

あの患者さん、手術が決まつたらしいけど、この薬は続けて大丈夫?——こんな疑問が浮かんだ経験はないだろうか。周術期の患者への関与が求められる場面は、薬局でも病院でも増えている。

本書は、多忙な薬剤師業務のなかで、入院・手術が決まった患者の服用薬について、「いつまで飲むか」「いつから再開するか」の目安を素早く確認できる実践的な1冊。オリジナルのツールを活用して地域連携を進めている執筆陣が、現場で本当に必要な情報に絞って執筆し、疑義照会や患者指導、持参薬管理にすぐ活かせるポイントをコンパクトにまとめている。薬局・病院の薬剤師、看護師の方々に役立つ、手元に置きたいクイックリファレンス。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

- (1)医薬品情報の提供
- (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行
- (3)医薬品に関するお問い合わせ
- (4)消費者薬相談業務「おくすり相談室」
- (5)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日 (月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しの場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937
沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

令和7年度

医療機器販売等の営業所管理者・医療機器修理業の責任技術者に対する継続研修

～高度管理医療機器等継続研修会の開催について～

高度管理医療機器等を取り扱う場合は、事前に都道府県知事の許可を受ける必要があり、許可を受けた販売業等の営業所の管理者は、薬機法施行規則第168条に基づき、毎年度研修を受講することが義務付けられています。

沖縄県薬剤師会では、この継続研修を事業に組み入れ、継続研修会を開催いたします。

つきましては、下記の通りお知らせいたします。

日 時：令和7年12月1日(月)～12月7日(日) ※Web研修会

対象者：薬機法施行規則第168条及び第175条第2項に基づく高度管理医療機器(コンタクトレンズを含む)・特定管理医療機器(家庭用電気治療器、補聴器等)の販売業及び賃貸業の届出をしている事業所の管理者。薬機法施行規則第194条に基づく医療機器修理業の責任技術者。

※詳細につきましては、10月上旬頃にFAX一斉同報・HP等にてご案内いたします。

試験検査センターからのお知らせ

1 第84回九州山口大会 試験検査センター運営連絡協議会

令和7年9月13日、佐賀県で開催された試験検査センター運営連絡協議会に参加しました。九州各県の試験検査センターの役員や職員と直接お会いし、様々な議題について意見を交わしました。個々の県だけでは解決できない試験検査に関する細かな情報を交換することができて、たいへん有意義な協議会となりました。



2 機器の予約はお早めに

試験検査センターでは学薬部会所有の機器（騒音計など）の管理・貸出を行っています。毎月の水曜と木曜は予約が集中し、早い時には3週間前に予約が埋まってしまいます。検査に必要な機器の予約は早めにご連絡ください。

プールで使用される塩素系消毒剤とpHについて～その2～

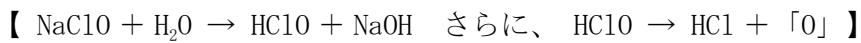
前回、トリクロロイソシアヌル酸（TCCA）について特徴や注意点について解説した。今号では特徴の違う次亜塩素酸ナトリウムについて紹介したい。

【次亜塩素酸ナトリウムの特徴】

性状は液体、液性はアルカリ性。

通常、次亜塩素酸ナトリウム用の注入ポンプを使ってろ過系統の配管によりプールへ送り込む。

消毒作用は、TCCAと同様に加水分解で次亜塩素酸（HOCl）を生成し、殺菌や有機物分解が行われる。



次亜塩素酸ナトリウムは安定剤としても水酸化ナトリウムが含まれるため、TCCAと異なりプールのpHは上昇する。

【次亜塩素酸ナトリウムの注意点】

- ・温度や紫外線の影響を受けやすく、放置すると有効塩素が低下するため保管場所に注意が必要である。

- ・皮膚に対して腐食性があるため、手についた場合は大量の水で洗い流す。

- ・pH測定に使用する指示薬の種類に注意

プールで使用しているpH測定器の指示薬でBTB溶液（ブロモチモールブルー）を多く見かけるが、BTBの変色域は5.8(6.0)～7.6である。



次亜塩素酸Naを使用するとpHは上昇するので、BTBと比較してアルカリ側の測定が可能な指示薬の使用を推奨する。【例：SPS指示薬（鈴研（株））やBTS指示薬（笠原理化工業（株））：変色域は5.8～8.6】

- ・次亜塩素酸Naと凝集剤などの酸性溶液を混ぜると塩素ガスが発生するため、事故防止に注意を払うことも大切である。

ひきつづき利用契約推進中！

会員のための検査センターをモットーに頑張っています。

※利用契約の詳細は、以下の連絡先に連絡下さい。

連絡先：試験検査センター 電話：098-963-8934 Mail：siken@okiyaku.or.jp

第71回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会
副部会長 狩俣 イソ



学名 *Clerodendrum trichotomum* Thunb. var. *esculentum* Makino は、「var」は変種のこと、エスクレントゥムは「食べられる」を意味する。Makino は多くの新種や変種を発見した植物学者、牧野富太郎博士（朝ドラのモデル）。牧野博士は何をイメージしてショウロウと名付けたか、松露、鐘楼、娼楼・・・想像が膨らむ。

ショウロウクサギ

学名 *Clerodendrum trichotomum* Thunb.
var. *esculentum* Makino
科名 シソ科（かつてはクマツヅラ科）
属名 クマツヅラ属
使用部位 茎、葉、根
成分 葉: クレロデンドリン A、B
アカセチン、メソイノシトール
茎: アントラキノン、アロエエモジン
根: クレロドロン、クレロドン



【ショウロウクサギの名称】

クサギは、枝や葉にやや悪臭があることから臭木と名がついた。属名（学名の前半の部分）の *Clerodendrum* は、ギリシャ語の *Kleros*（運命）と *dendron*（木）の合字で「運命の木」という意味。運命の木となったのは、呪術に用いられたり、医薬として効果があることに由来するという説がある。種小名 *trichotomum* トリコトムムは「三分岐の」という意味である。沖縄地方ではクサギと言えば、ほぼショウロウクサギを指す。クサギナやクサジナと呼ばれ、ナは菜つ葉の菜、葉は食用になる。クサラキ（石垣）、コウズギー（宮古）、ハビルキ（西表）などの名がある。

【ショウロウクサギの形態・生態】

ショウロウクサギはシソ科（旧クマツヅラ科）、クサギ属で、中国南部、九州南部、沖縄（大東島を除く）、朝鮮南部、フィリピンなどの日当たりのよい低地や山裾の荒地に自生する。

樹高 3～8m 落葉小高木で、若い枝は灰白色で短毛が密生する。葉は対生し卵状三角形

で葉先が尖り、上面は無毛で、下面是有毛。7～10月枝先に、集散花序で香りのする白い花を多数咲かせる。花の基部は長さ 2～2.5cm の紅紫色をした筒状で、先はプロペラのように5裂に平開する。4本の雄しべは花冠の外に長く飛び出し、1本の雌しべは雄しべがしおれた後に飛び出す、雄性先熟ユカセインジクである。自家受粉を避けるために、雄しべが先に成熟し、役目を終えた後、雌しべが成熟し、受粉体制が整う。萼は宿存萼で広披針形の紫紅色で5深裂する。星状に開けて中央に丸い果実をのせる。熟すと青紫になる。

【ショウロウクサギの利用】

クサギの変種のショウロウクサギの葉や枝はクサギほどには臭みがない。新芽や若葉を摘むときに青臭い嫌なにおいがするが、乾燥すると悪臭が消え独特な風味が生まれる。ゆでると消える。花や若葉がてんぷらや味噌汁、和え物、雑炊、炒め物、和え物、煮びたし、佃煮などとして食されてきた。花はヘルニア、根は高血圧、種子は喘息・リウマチに効果があると言われている。

【クサギの成分・利用】

葉を、関節痛、部分的知覚喪失、麻痺、湿疹、高血圧、鎮痛に用いる。若枝を、高血圧、偏頭痛、マラリア、下痢、痔、リウマチに用いる。腫物や痔は煎汁で洗う。根は、利尿、健胃、解熱に用いる。奄美大島では疳の虫に、与論島では胃腸病に用いる。ウシやウマのシラミ駆除に葉の煎汁を塗布する。

葉は、クレロデンドリン A・B、クレロデンドロニン A・B、アカセチン、メソイノシトールを含む。茎・根は、トリテルペノイドのクレロドロン、クレロドンを含む。

新嘗祭ニケササイや大嘗祭ダ・イ・ヨウサイなどの儀式には、白酒シロキや黒酒クキと呼ばれたお酒が供えられた。平安時代にまとめられた三代格式の一つ『延喜式 927年』には、あま酒に臭木を焼いて出来た灰（焼灰）を入れたものを黒酒といい、入れない方を白酒としたとの記

載がある。

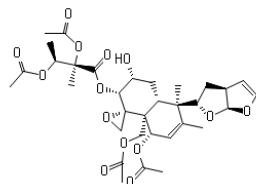
【クサギの実の浅青パダ 色：トリコトミン】

クサギの成熟した果実は碧色となり、江戸時代には常山の実と呼んで浅青色の染料として利用していた。今では草木染や食用色素として利用されている。名古屋大学の佐々木教祐らにより構造（トリプトファンから作られた物質が2分子結合した形）がつきとめられ、種小名にちなんでトリコトミンと命名されている。また赤い萼からは鉄媒染で渋い灰色の染め上がりを得ることができる。

【臭梧桐(しゅうごどう)、臭梧桐根】

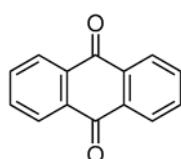
クサギの、花の咲く前の枝葉を天日乾燥した生薬は、臭梧桐と称される。根は臭梧桐根という。ジテルペノイドのクレロデンドリンやトリテルペノイドを含む。降圧作用、鎮痛作用がある。漢方では去風湿の効能があり、リウマチなどの疼痛や半身麻痺などに用いられる。製剤化したものを高血圧の治療に応用している（風湿豨桐片）。臭梧桐根も同様の効果があり、筋肉痛や関節痛、麻痺などの症状に桑枝・虎杖根などと配合する（桑枝虎杖湯）。

【クレロデンドリン】



茎・葉に含まれるクレロデンドリンは殺菌作用や降圧作用、鎮痛作用などが確認されている。

【アントラキノン】



9,10-アントラキノン

アントラキノンは芳香族に属する有機化合物で、アントラセンの誘導体である。黄色から薄い灰色、もしくは緑がかかった灰色をしており、結晶性の粉末である。天然のアントラキノン誘導体は下剤として働くものが多い。

【アントラキノン系抗悪性腫瘍剤】

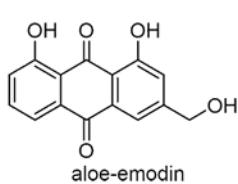
アントラキノン誘導体はアドリアマイシンやミトキサントロン塩酸塩（ノバントロン）など抗ガン作用を示す例がある。アントラキノンの細胞毒性は酵素反応を介して酸素を一電子還元するスーパーオキシド生成に由来すると推測される。スーパーオキシドの最も鋭敏な標的はTCA回路のアコニターゼ（酵素の一種）であり、この酵素の失活によりエネルギー生成系は破壊される。アントラキノンの示す細胞毒性もアコニターゼの失活によるミトコンドリア代謝の障害として説明できる。

【抗がん性抗生物質(アントラサイクリン系)】

アントラサイクリンの化学構造の中心であるアントラキノンは、可逆な電子移動を担うキノン類の一つであり、酸素ラジカル発生だけでなく、ラジカル消去作用も示し、酸化・還元の両方向の電子移動が可能である。

がん細胞は無秩序な増殖を繰り返し、転移を行い、正常な細胞を障害し組織を壊す。細胞の増殖には遺伝情報をもつDNAやRNAの合成が必要となる。本剤は細胞内のDNAに結合してDNAやRNAの合成を阻害して抗腫瘍効果をあらわす殺細胞性抗がん薬となる。土壤などに含まれるカビなどの微生物由来の薬剤であり抗がん性抗生物質などと呼ばれる。ドキソルビシン・エピルビシン・ブレオマイシンなど多数ある。

【ヒト滑膜細胞の細胞増殖とアポトーシスに及ぼすアロエエモジンの効果】



アロエエモジンAEは、薬用植物に含まれているヒドロキシアントラキノン系の化合物である。関節リウマチRAの病態において中心的な役割を

果たしている滑膜細胞（関節破壊に関与する）に注目し、滑膜細胞の増殖、アポトーシス、細胞周期進行に対するAEの作用を検討し、さらにメトトレキサートMTXの作用と比較した。ヒトRA患者由来滑膜細胞株MH7AにAE、MTXを作用させたところ、AEとMTXは濃度依存的に細胞増殖を抑制することがわかった。また、AEとMTXはMH7A細胞のアポトーシスを誘導した。細胞周期(G1 → S → G2 → M → のサイクル)解析の結果、AEはG2/M期の細胞を増加させ、MTXはS期の細胞を増加させた。AEはMH7A細胞にG2/M期停止を誘導し、MTXはS期停止を誘導することがわかった。AEとMTXは異なるメカニズムが関わることが考えられた。AEは新たなRAの治療薬になりうる可能性が期待できる。

参考：奄美群島生物資源WebDB、うちなー通信、熊本大学薬学部薬用植物園植物DB、漢方生薬事典、GKZ植物事典、く～にやん雑記帳、ガジ丸ホーム、葉と枝による樹木検索図鑑、e-yakusou.com、林野庁、Khaju Art Space、KKインテリム、宮城県林業技術総合センター、宮崎県薬剤師会、鹿児島県薬剤師会、栃木中医薬研究会、Yomeisyu、村上恵子・坪内涼子・細川好孝・吉野昌孝論文、橋口素子・鈴木香・金子和夫・長岡功論文、日野製薬



せっかくだから…が重なって

今回随筆リレーのバトンを受け取りました新垣紀子と申します。私はせっかくだから…が重なって貴重な経験ができたお話をさせてください。

車社会の沖縄ですが、県外への旅行や出張では歩くことも多く、1万歩を超えるなんてこともざらではないくらい歩きますよね（道に迷うのもカウントしてます…笑）。私はこれまで福岡に何度も行く機会がありました。皆さんも良く行かれる主要都市の一つかと思います。これまで、空き時間が2～3時間あるけどどうしよう…と思ったとき、博多から近い大濠公園周辺を散策することがありました。そこはあまりにも広いのですべてを回ることはできず、また一部施設では閉館時間が早いため、せっかく着いたのに中に入れなかつた…と悔しい思いをしたこともありました（私自身のリサーチ不足なのですが…笑）。今回空き時間が3時間…時間がある～どうしよう。せっかくだから行ったことのない「鴻臚館（こうろかん）」という施設に行ってみよう！と決心して行くことにしました。もちろん限られた時間のなかで、そこめがけて歩いていると、ふと周りの様子が賑やかなのに気づきました。あれっ、「本日あおぞらマラソン開催」の看板が。ゼッケンを付けた大勢の人たちがグラウンドを何周も走っているではないですか（せっかくだから走りましたと言いたいのですが、せっかく話はここではありません）。そっとその流れから離れ、ようやく目的施設へ到着。鴻臚館では唐や新羅の使節団や遣唐使などを迎え入れたとされており、多くの遺構や出土品が展示されていました。出入口では期間限定で「多聞櫓（たもんやぐら）」が公開されていると貼り紙が貼られていて、せっかくだからと見にいこう！園内案内図を見ても帰り道だし…と軽い気持ち

つる薬局
新垣 紀子



で立ち寄りました。そこはガイドさんと1対1のVIP対応。総延長72mの櫓は内部が16もの部屋に分かれて、内部の作り、屋根の特徴など見どころを説明していただき満喫して帰ろうと思ったとき、「3月に復元した潮見櫓（しおみやぐら）が一般公開されているけど、2階に上がるのは今日までだよ、ガイドさんの説明もあるからぜひ見に行ってね。」と爽やかに声をかけていただき、またまたせっかくだからとそこに行くことにしました。集合時間まで少し時間があったのでゆっくりのんびり歩いていたら、「牡丹芍薬園」という看板が。またまたせっかくだから、の気持ちが高まり、階段を上って園の中を散策。あたり一面に広がる素晴らしい花を見て、香りを楽しませてもらい、集合時間になつたので集合場所へ向かった。福岡城・潮見櫓無料ガイドツアーと題したこのツアーの参加メンバーは、ご年配の方や小学生の親子連れなど年齢層は幅広く、ガイドさんの質問に対して、小学生がガイド顔負けの回答をしてくれて、皆を驚かせており、歴史女子「歴女の卵」と微笑ましく感心してしまいました。潮見櫓の復元に使われた資材の説明、今日までしか一般公開していない2階の部分の見学など、貴重な経験をすることができました。きっとすごく歩いたに違いないと携帯の歩数計をウキウキしながら見たのですが、途中充電が切れてしまい、ノーカウント（泣）。その後は本来の用事へと急いで向かったのでした。

せっかくだから…。その時代に気持ちを馳せて歴史や食について勉強させてもらいました。たまには流れに身を任せるのもいいなあ～と思った出来事でした。



写真について

(左上)

牡丹芍药園：黒田官兵衛（如水）が晩年過ごしたとされる御鷹屋敷跡にあり、昭和55年に整備された。

(右上)

多聞櫓：江戸時代から場内に残る唯一の櫓。敵の侵入に備え、いざという時は屋根に備えた槍も使って戦った。

(左下)

潮見櫓（棟札）：江戸時代当時の部材を使用し復元。2階の一般公開最終日。

(中央下)

鴻臚館跡：古代の外交施設。発掘された当時の状態のまま保存されている遺構や陶磁器出土品を展示。

(右下)

鴻臚館で食された食材を使った料理：トイレ遺構から検出された食物関連資料等を参考に組み立てたもの。花粉分析から、盛夏から秋の食膳をイメージ。

次号には、久手堅 奈央 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

災害対策

災害時における薬剤師の役割 その4 災害への備え、薬局でできること



平時の準備が「いざ」という時の力に

沖縄に暮らす私たちは、毎年のように台風や豪雨といった自然災害に直面しています。被害の大小はその時々で異なりますが、“備えがあるかどうか”で対応力は大きく変わります。薬局は地域住民の健康を支える拠点であり、災害時にもその役割が期待されます。今回は、厚生労働省が取りまとめた「薬剤師のための災害対策マニュアル」(第2章 薬局)を参考に、平時に薬局で取り組むべき防災対策を紹介します。

1. 薬局全体で災害を想定する

マニュアルでは、薬局が災害時に最低限の業務を継続するために、平時からの準備が強調されています。とくに「事業継続計画(BCP)」の策定は重要です。BCPには、災害発生時に誰がどの役割を担うのか、連絡方法はどうするのか、どの業務を優先して継続するのか、といった具体的な手順を盛り込みます。

また、職員同士の安否確認方法を事前に決めておくことも不可欠です。LINEや電話連絡網など、複数の手段を組み合わせておくと安心です。

2. 備蓄と設備の確認

薬局は地域における医薬品供給の拠点であり、災害時にも継続して機能することが求められます。

そのため、医薬品や衛生材料に加え、災害対応に必要な資材を備蓄しておくことが望まれます。

- ・医薬品・衛生材料(マスク、手袋、消毒薬など)
- ・飲料水や非常食(自立して3~4日間過ごせる)
- ・懐中電灯、乾電池、簡易発電機

災害対策委員会委員
沖縄県災害薬事コーディネーター
坂本 政文



こうした備蓄を定期的に点検し、使用期限の管理を徹底することも大切です。

3. 停電・断水への備え

沖縄では、台風によって数日間停電や断水が続くことも少なくありません。

マニュアルでは、冷所保存が必要な医薬品について、停電などライフライン途絶時に備えた対応方法を事前に検討しておくことが示されています。

具体的には、非常用自家発電装置を設置する、冷所保管医薬品のために保冷剤を確保するなどの備えをしておくと安心です。

また、断水時にはトイレや手洗いが使用できなくなるため、携帯トイレやアルコール消毒液などの準備も重要です。

4. 情報共有と連携

災害時に孤立せず、情報を的確に伝達することは薬局の大切な役割です。マニュアルでは、薬剤師会や行政、災害薬事コーディネーターとの連絡体制を平時から確認しておくことが示されています。電話やメールだけでなく、FAXやSNSなど複数の通信手段を準備しておくことも推奨されています。

また、近隣の薬局や医療機関との協力体制を構築しておくことで、医薬品の融通や情報交換がスムーズになります。

5. 沖縄ならではの視点

沖縄は地理的条件から、災害時には医薬品や物資の輸送が滞るリスクが高い地域です。とくに離島では、船や飛行機が止まると数日間物資が届かないことも想定されます。そのため、地域ごとに備蓄体制を検討し、行政や

医療機関と協力して連携体制を築くことが必要です。平時から“最悪のシナリオ”を想定し、薬局がどのように地域を支えるかを話し合っておくことが大切です。

まとめ

災害対策マニュアルをすべて実践するのは簡単ではありませんが、まずはできることから始めることが大切です。職員同士で防災に

ついて話し合ったり、備蓄品の点検を定期的に行ったりすることも、立派な一歩です。

沖縄県薬剤師会では「災害支援薬剤師」の登録及び「災害薬事コーディネーター」養成研修会に関する問合せを随時受け付けています。県内の薬局・薬剤師が少しづつ力を合わせることで、災害時にも地域住民を支える大きなネットワークが築かれます。ぜひ積極的に挑戦してみてください。

マニュアル全文はこちらからダウンロードできます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/001438348.pdf>

1-1 薬局が平時において取り組む事項（チェックリスト例・抜粋）

1-1-1 災害時連絡先一覧表の作成など

- 災害時の連絡先一覧（携帯電話番号、メールアドレス）等を作成し、全従事者に周知する
- 災害時の連絡方法や集合場所、休日・時間外に災害が発生した場合に緊急参集する者は管理薬剤師とする。
- 薬剤師として出動する場合に備え、震災時の出動許可をあらかじめ薬局開設者より得ておく

1-1-2 ライフラインの確保

- 【通信手段】複数の手段を確保する（固定電話、FAX、インターネット、携帯電話など）
- 【電気】停電時の非常用電源を確保する（蓄電池（バッテリー電源）、各種乾電池の備蓄）
- 【燃料】3日分程度の燃料（ガス、ガソリン、灯油等）を常備する
- 【水】飲料水、配水車からの給水の受け入れ容器（ポリタンク等）を常備する
- 【交通手段】自転車、バイク、自動車等を確保する

1-1-3 医薬品等の確保

【医療用医薬品の備蓄・管理】

- 最低限3日分程度の在庫を持つように努める
- その他、薬剤関連資材についても、同様の備蓄に努める
- 一般用医薬品や衛生材料等についても、災害時の地域のニーズに応じるため、十分な量を備蓄するように努める

1-1-4 防災用品の確保

- 防災用品を常備する
- 自立して3～4日間過ごせるだけのものを備蓄する

1-2 災害発生時の対応－自らの薬局が被災した場合－

1-2-1 患者の避難誘導

- 自薬局内にいる患者の救護（手当て）、安全な場所への避難誘導（自治体が指定する避難場所など）を行う

転載記事

沖縄県難病相談支援センター発刊の難病情報誌「アンビシャス」に、会営薬局とよみの宮里威一郎先生と薬事情報センターの白坂亮先生の執筆記事が連載されています。

Vol.271 (2024年12月号)

今月のおくすり箱

「食後」つて何分後まで
OKですか？



お薬の飲み方の中で、一番多いのが『食後』ですが、食べ終わってどのくらいまでを『食後』と言つて良いのでしょうか。

医療的に『食後』という場合、食事の後の30分以内を指します。食べ終わってすぐに服用しても構いません。おなかの中に食べたものがしつかりある時間帯、それが『食後』です。

ですが『食前』の場合は食事の前30分以内いつでも良いのではなく、食事の20～30分前を指します。あまり食事に近くてもいけません。食事の影響を受けないようにする狙いがあるからです。

『食間』というタイミングもあります。これは食事と食事の間という意味で、食後2～3時間後頃を指しています。こういう薬は食事や他のお薬の影響を受けやすいです。食事中と誤解されることもありますが、狙いが真逆になるのでお気をつけください。

お薬を安全で効果的に使うために指示通りに飲むことが大事ですが、もしそれが実際には難しいなど気になることがあれば、近くの薬剤師に相談ください。



沖縄県
薬剤師会
宮里 威一郎

Vol.272 (2025年1月号)

今月のおくすり箱

薬剤師をもつと身近に



みなさんは薬剤師と聞くとどんなイメージを持たれますか？薬局では棚からお薬を取つて渡す人、お薬の専門家、学校でブル水等の検査をする人など様々なイメージを持たれていることと思います。今回は、そんな薬剤師について少しだけお話をさせていただきます。

薬剤師は、薬学に関する専門的な知識を持ち、医薬品の調剤、管理、提供、相談などを行うことを主たる役割として地域の皆様の健康を守っています。調剤薬局での薬剤師の仕事には、医師の処方せんは欠かせません。お薬は、治療をするためのものであり、その治療行為を行えるのは医師のみと定められています。そのため、医師の許可なく処方薬を変更したり、飲み方を変えることは法律で禁止されています。薬剤師は、医師と協力して、患者が安全に薬を服用できるようにサポートしています。その一方、ドラッグストアなどで販売されている市販薬については、処方せんがなくても薬剤師に相談し購入していただけます。軽い症状の場合は、病院に行かなくても対応が可能です。



沖縄県
薬剤師会
白坂 亮

Vol.273 (2025年2号)

今月のおくすり箱

抗生素質は治つたら
止めて良い？



皆さんは風邪をひいた時「抗生素質を飲めば早く治る」と思つていませんか？実は、抗生素質は細菌を退治する薬なので、風邪やインフルエンザなど細菌よりずっと小さいウイルスによる疾患には直接の効果はありません。ですが、体力が落ちていて肺炎などのリスクがある場合などに医師の判断で処方されることがあります。

処方された抗生素質は、副作用など特別な事情がない限りは、指示通りに決められた期間、決められた量を服用することが大事です。しまうことで症状がぶり返してきたり、その薬の効きにくい耐性菌を生み出す原因になってしまいます。

菌が耐性をつけていない新しい薬を開発するには、とてつもないお金と時間がかかります。そのため、耐性菌を生み出さないことが世界でも大きな課題になっています。ですから、抗生素質は必要な時に、正しく使うことが本当に大切です。もし、抗生素質について不安なことや分からぬことがあれば、お近くの薬剤師にご相談ください。



沖縄県薬剤師会
宮里 咲一郎

Vol.274 (2025年3月号)

今月のおくすり箱

お薬手帳は自分だけの
体調管理ツール



みなさんはお薬手帳をご存じでしょうか？お薬手帳とは、医師から処方されたお薬の情報と記録し携帯する手帳のことです。最近では電子お薬手帳も普及し、お手持ちのスマートフォンでもお薬情報を確認できるようになります。

薬剤師は、お薬を調剤する際、飲み合わせや患者さんに適した量であるかなどを確認しています。お薬手帳には、今まで飲んでいたお薬や、アレルギーの情報など多くの情報が記録されており、このお薬手帳は使い方次第で患者さん自身の健康管理ツールにも役立ちます。

お薬手帳を窓口で提出すると、病院や薬局で処方内容が記載されたシールを貼られるため、医療従事者が使用するものだと思い、患者さんご自身で記入することをためらっています。

そこに、工場で製造されてから薬局に届くまでの期間、薬局で保管されていた期間を経て皆さんの手元に届けられます。薬局では定期的に期限チェックを行つており、品質の確保されたお薬をお渡しできるようになります。



沖縄県薬剤師会
白坂 亮

Vol.275 (2025年4月号)

今月のおくすり箱

この薬はいつまで使えますか？



「薬は食べ物じゃないから腐つたりとかしないでしょ？」と言われることがあります。薬は人工的に合成されたものなので、確かに食品のような腐り方をしていくことはありませんが…

私たちが使用する薬は、一般的に製造から2～3年を使用期限となつていています。その期限を過ぎていると、十分な効果が出なかつたり、劣化した成分が体に悪かつたり。

病院や薬局から出るお薬は患者さんのその時の症状に合わせて医師が処方したものですが、別の機会に同じ症状が出ても、同じ診断とは限りませんし、使用期限がどの程度残っているかも不透明です。そういう場合には残っていた薬をすぐ使うのではなく、まず医師・薬剤師に確認を取るようにしてみてください。



沖縄県薬剤師会
宮里 咲一郎

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

薬連だより

オレンジ日記

参議院議員・薬剤師
本田 顕子

感謝

令和7年7月20日の日曜日、第27回参議院議員通常選挙の投開票日当日は選挙期間中と変わらぬ強い日差しが照り付く猛暑日でした。私は朝から投票行動を促す連絡をさせていただき、午後8時からは開票状況を見守る時間となりました。

事前に「早朝での当確は勘弁してよ」というお声をたくさん伺っていた中での開票速報は、選挙区での厳しい情勢を伝える報道が続く中、比例代表は日付が変わり「未明」と呼ばれる時間帯になってから徐々に開票率が上がり、党として12議席確保するところまできました。しかし、明け方には開票率が9割に近づいたものの報道各社の当落情報が出揃わない状態が続きましたので、選挙事務所に集まっていた皆様と共に落ち着かない時間を過ごすこととなりました。

そして、開票から丸半日が経過したあたりで、主だった「当確」報道が出ていたことを踏まえ

て、慎重な気持ちを残しつつも、選挙事務所に詰めていた方や電話をいたいた方と喜びを分かち合うことといたしました。

得票数と投票数は必ずしも一致はしませんが、有権者の0.15%、自民党の名簿登載者の名前で投票いたいた方の4.22%が「本田あきこ」、「本田顕子」等と書いていた計算になります。皆様、本当にありがとうございました。

選挙明けの第218回臨時国会が8月1日から5日間の会期で開かれ、6年前と同様、参議院正面玄関から議事堂に入り、当選後の初登院の時だけ通ることができる階段を、今後6年間、国民のいのちと暮らしを守るために誠心誠意取り組み、比較第一党としての責任を果たしていく決意で上がりました。

2期目も変わらぬご指導よろしくお願ひ申し上げます。

[得票数 (本田あきこ)] 15万 2,518.704 票 党内 12議席中 11位 (総務省発表、以下同じ)

[選挙当日の有権者数] 1億 359万 1806人

[自由民主党の得票数 (比例代表)] 1280万 8306.775 票 (得票率 21.64%)

うち [名簿登載者 (特定枠を除く) の得票総数] 361万 2036.328 票



7月13日愛知県内



選挙カー (ミニチュア)



7月21日投開票日翌日 (於選挙事務所)

薬連だより

オレンジ日記

参議院議員・薬剤師
本田 顯子



レボノルゲスト렐製剤のスイッチ化

8月末であっても残暑という表現が相応しいか疑わしい程の猛暑、酷暑の日が続いています。その最中の8月29日に厚生労働省の薬事審議会 要指導・一般用医薬品部会が開催され、いわゆる「緊急避妊薬」を薬剤師が責任をもって直接取扱うことが決まりました。

平成28年に厚生労働省に要望書が提出され、翌29年にスイッチ化は時期尚早とされたものの、第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）にて、予期せぬ妊娠の可能性が生じた女性が処方箋なしに適切に使用できることの検討が求められたことを踏まえ検討が再開された経緯があります。その後も当事者や関係の皆様からのヒアリング、国内外の状況調査、現場の薬剤師の皆様によるモデル的調査研究の実施等々、丁寧な検討が重ねられて今回の結論に至りました。

今後、薬事承認に係る諸手続や製造販売業者による市販準備などが整い次第、薬局などの販売が始まります。面前服用、服用3週間後には妊娠検査薬の使用または医療機関の受診を通じて妊娠有無の確認を求めるなど、

薬剤師の職能を遺憾なく発揮していただくことになりますのでよろしくお願ひいたします。

加えて、今般のスイッチ化には薬剤師が社会的要請にこれまで以上に専門性をもって応える立場に置かれるとの意味合いが含まれます。性交同意年齢（16歳）未満の方や性犯罪被害等が疑われる場合の対応として、服用者を保護する必要性を判断してワンストップ支援センター・児童相談所等への連絡・通報を行うことや、性犯罪の証拠保全が必要な場合の関係機関との連携など、研修受講等を通じて薬剤師が服用者の「安全窓口」になることを願っています。

8月27日に開かれた自民党薬事に関する小委員会でも発言しましたが、女性薬剤師による対応を願う服用者の気持ちと男性側の圧力等からの危険回避を両立させる方策も必要です。本剤を服用せざるを得ない状況を生み出す社会的課題の解決策を含め、10月の「薬と健康の週間」や11月の「女性に対する暴力をなくす運動」などの啓発機会に即して熟思熟想いたします。



8月27日 厚生労働部会 薬剤に関する小委員会

◆厚生労働省ホームページ

薬と健康の週間（10月17～23日）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kusurikenko_r_7_00001.html

◆内閣府ホームページ

女性に対する暴力をなくす運動（11月12～25日）

https://www.cao.go.jp/press/new_wave/20241108.html

薬連だより

オレンジ日記

参議院議員・薬剤師
本田 顯子



女性局長としての総裁選挙

10月4日土曜日、自民党本部にて総裁選挙の議員・党員投票の開票が行われ、高市早苗候補が第29代総裁に選出されました。

5名の候補者が届出を行った今回の総裁選挙期間中、所見発表演説会や共同記者会見その他各地での演説会などが行われましたが、これら総裁選挙管理委員会が定めるスケジュールの一つに党青年局・女性局が主催した公開討論会があります。

今般の総裁選挙において、私は女性局長として貴重な機会を得て、様々な活動に関わることができました。

公開討論会では、青年局長の中曾根康隆衆議院議員と共に司会進行役を務め、討論会冒頭の主催者を代表しての挨拶の中では、5名の候補者を目の前にして、新総裁には「力強いリーダーシップと政策力で自民党、国家国民を導いていただきたい」、そのためには「自分たちも全力で努力する」と党再生に向けた思いを込めました。

この一節は総裁選挙に向けて全国の女性局員とも議論を重ねて取りまとめた「自由民主

【党青年局・女性局主催 公開討論会（令和7年9月23日）】

<https://www.youtube.com/live/RFqp0r7aXyw>



党青年局・女性局主催の公開討論会での冒頭挨拶

党総裁選挙「女性局声明」を踏まえたものです。この声明では「国民の意識とのズレ」やアンコンシャスバイアスの一刻も早い解消と、名実ともに「女性の力」が發揮できる環境整備についても求めており、公開討論会に先立って、告示日当日に各候補者に手交させていただきました。

公開討論会の準備は入念に行い、あらかじめ総裁選挙管理委員会の逢沢一郎委員長からは「地方の声を聴く大切な機会」というお言葉をいただきいていましたので、一般質問について全国の青年局（部）と女性局（部）に募集を行い、数多くの応募を得て討論会当日の活発な議論につなげることができました。

本稿をご覧になる頃には、党内の新体制および政府内における比較第一党としての立ち位置などが定まり、他党との連携体制も見えてきているはずです。

今般の総裁選挙を経て、新総裁のもと総力を結集し、未来への不安を夢や希望に変える政策の実現を目指してまいります。

9月23日】



党青年局・女性局主催の公開討論会

薬連だより

政幸だより

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



骨太の方針2025

本田あきこ先生のご再選、誠におめでとうございます。先生と共に未来を切り拓く決意を新たにし、これからも全力で取り組んでまいります。

骨太の方針2025は、本年6月6日に開催された第7回経済財政諮問会議で原案が示されました。6月9日の11時から開催された自民党の厚生労働部会において、医薬品安定供給のための設備投資の重要性を改めて訴えると共に、充分な支援策が必要であることを主張しました。さらに、革新的新薬が適切に評価されるよう、費用対効果評価制度の対象拡大については、乱暴な進め方をするのではなく、幅広く意見を聞いた上で検討を進めるべきであることを強く訴えました。

同日14時から開催された政調全体会議において、薬価を社会保障費の財源とすることは

限界に来ており、医薬品卸が運ぶ基礎的医薬品の8割が赤字の状況であること、また調剤医療費の7.5割を薬剤費が占める薬局は経営が苦しく賃上げが困難になっている窮状を訴え、財政フレームの見直しを強く迫りました。

6月13日に閣議決定された骨太2025で、社会保障関係費については「具体的には、高齢化による増加分に相当する伸びにこうした経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算する。」と記載されました。原案の段階では、経済・物価動向等も高齢化などと同様「自然増」に含まれていましたが、議論を経て、経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分は自然増とは別枠とされました。

また骨太の原案で、薬局が有する情報の標準化と「デジタル化」を進めると記載されていた箇所は「DX化」に修正されました。デジタル化は業務や作業を効率化・自動化することを目的に行われます。薬局ではすでに電子薬歴等のDX化が進んでおり、データやデジタル技術を活用した業務変革のさらなるDX化によって、薬局が有する情報の活用の幅の拡がりが期待されます。

加算の獲得やDX化の推進については、これから年末に向けてしっかりと対応してまいります。



薬連だより

政幸だより

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



原薬工場を視察

令和7年7月31日、生化学工業株式会社様の久里浜工場を視察させていただきました。こちらの工場は1947年に開設され、医薬品の原薬となる高純度のヒアルロン酸やコンドロイチン硫酸を製造されています。久里浜工場の特徴は、抽出と発酵による原薬製造に特化していることです。創業当時から長年培つてこられたコンドロイチン硫酸の高度な抽出・精製技術が現在まで受け継がれており、ヒアルロン酸の原料となるニワトリの鶏冠やコンドロイチン硫酸の原料となるサメ軟骨から、高純度の原薬を効率的に製造するノウハウを有しております。

工場で生産するヒアルロン酸やコンドロイチン硫酸の製造概要についてご説明いただいた後、製造棟の工場設備の一部を視察させて

いただきました。原料から抽出・精製する高い技術力は、原薬を製造する長年の経験により培われた技術やノウハウが、数多く活かされていました。また、いずれの原薬も生物を原料とすることから、その品質や安全性を確保するための製造工程はもちろんのこと、工場視察の後に訪問させていただいた、品質管理部門における厳格な品質管理にも、高度な技術が使われていました。定量試験を行う技術者は、社内独自の資格試験に合格しないと定量試験やパソコンにもアクセスすることができません。また、検査における試薬の秤量を行う過程はバーコードで管理され、ログの改ざんができないようなシステムを導入するなど、信頼性を高める活動に尽力されていました。

薬価が下がり続け、人件費やコストが上昇する中、国産の原料を用いた品質管理体制を徹底的に整備し、医薬品の安定供給と国内製造に取組む先発医薬品の生産供給に取り組むプライドと信頼性を高める活動に力を注ぎ、人々の健康といのちを支える医薬品を製造する現場としての矜持を持つ姿に、改めて敬意を表する次第です。今回の視察をしっかりと政策に反映してまいります。



薬連だより

政幸だより

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



病院薬剤師偏在解消への取り組み

2025年9月9日と10日の両日、石川県を訪問し病院薬剤師の偏在解消への取り組みを視察させていただきました。

9月9日石川県薬剤師会の乙田副会長、谷内事務局長と一緒に、金沢大学附属病院薬剤部を訪問し、薬剤部長の崔吉道先生からお話を伺いました。患者のみならず医療者の高齢化や、医療介護福祉の需給ギャップが問題となっており、これらの問題は、将来さらに深刻化すると予想されています。薬剤師の偏在を解消する目的は、住民の健康を守る医療提供体制の確保にあります。

2018年、町立富来病院に初めて薬剤師の出向が行われました。その目的は単なる労働力の補完ではなく、薬剤師にとって魅力的な職場環境をつくることにありました。院長や町長とこの理念を共有し、全面的な協力を得な



がら、課題の抽出、地域連携や薬薬連携のモデル構築、さらには地域での学びを大学病院での教育に活かす取り組みとしてスタートしました。続いて、2022年4月からは2番目の施設として宇出津総合病院への出向が始まりました。こうした取り組みが評価され、2024年6月の薬剤業務向上加算の新設へつながっています。

9月10日、石川県薬剤師会の中森会長、崔副会長、橋本副会長、乙田副会長、森戸常務理事と一緒に、宇出津総合病院を訪問しました。院長は出向によってがん化学療法が再開できたことを大変喜んでおられました。薬剤部の先生方は、大学病院との連携によって医薬品情報に関するパイプが太くなったことや、地域薬局との顔の見える連携が進んだことをメリットとしてあげておられました。出向された先生からは、退院時指導や事前合意プロトコルの運用を通じて、薬薬連携を実践的に経験できたとのお話を伺いました。

薬剤業務向上加算が新設され、これらの取り組みが全国で始まっています。病院と薬局との連携が行われ、地域全体の薬剤業務の向上につながるようしっかりと後押しさせていただきます。

日薬通達

日本薬剤師会（令和7年9月10日付け日薬業発第213号）から、厚生労働省医薬局総務課長及び監視指導・麻薬対策課長から届いた「令和6年度医薬品販売制度実態把握調査結果」について会員へ周知する旨の以下通知がございました。

会員におかれましては、より一層の法令遵守の徹底を周知いただくとともに、法令遵守ができていない薬局・店舗販売業におかれましては、直ちに改善できるようお願い申し上げます。

令和6年度医薬品販売制度実態把握調査結果について

医薬品販売制度実態把握調査は、薬局・店舗販売業が医薬品の販売に際し、店舗やインターネットで消費者に適切に説明を行っているかどうか等についての調査を平成21年度から毎年実施されているものです。

平成26年度からは、一般用医薬品のインターネットでの販売状況や要指導医薬品の店舗での販売状況を含めて調査を行っており、今般、令和6年度の調査結果が取りまとめられました。

薬局・店舗販売業の店舗では、全体的な遵守率は横ばいとなりましたが、濫用等のおそれのある医薬品を複数購入しようとしたときの対応が「適切であった」は全体で88.4%、薬局においては87.1%と例年と比べ改善がみられました。

一方で、第一類医薬品における情報提供が

あったうち、「文書を用いて情報提供があった」割合は、前年度より改善がみられたものの全体で84.5%、薬局においては84.2%、「情報提供された内容を理解したかどうか等の確認があった」割合は全体で64.8%、薬局においては63.0%と、依然として販売ルールを遵守していない施設が存在し、十分とは言えない状況です。

医薬品販売に係る法令遵守は、医薬品の適正使用の確保には不可欠であり、全ての薬局等において的確に法令遵守ができるいなければならず、引き続きすべての項目で、法令遵守の徹底に向けて努力していく必要があります。

こうした観点から、日本薬剤師会では自己点検の実施や法令遵守のためにより実効性のある対策を継続して講じていく所存です。

1. 調査の目的

若年者の間で医薬品の濫用が問題になっていることや、医薬品の販売制度に関する検討会での検討等を踏まえ、医薬品の販売ルールの遵守状況等について、一般消費者の立場からの目線で調査することにより、医薬品販売の適正化を図ることを目的としている。

2. 調査の内容 注) 委託により実施 (委託先: 株式会社mitoriz)

(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

全国の薬局・店舗販売業の許可を取得している店舗を対象に、一般消費者である調査員が選択した店舗を訪問し、店舗での状況や従事者の対応等について調査。

(調査対象数) 3,028件 (うち、薬局1,355件、店舗販売業1,673件)

(調査期間) 令和6年11月～令和7年2月

(調査事項) ① 取扱医薬品の種類

② 医薬品の陳列状況

③ 店舗内の掲示状況

④ 名札の着用状況

⑤ 医薬品 (※) の販売状況

※要指導医薬品、第1類医薬品、第2類医薬品に調査対象を分け実施

(2) 薬局・店舗販売業の特定販売（インターネット販売）に関する調査

インターネットで一般用医薬品を販売しているサイトを厚生労働省ホームページに掲載されている「一般用医薬品の販売サイト一覧」から選定し、一般消費者である調査員が調査。

(調査対象数) 400件

(調査期間) 令和6年12月～令和7年2月

(調査事項) ① 取扱医薬品の種類

② 掲示事項の掲載状況

③ 店舗内の掲示状況

④ 医薬品 (※) の販売状況

※第1類医薬品、第2類医薬品、第3類医薬品に調査対象を分け実施

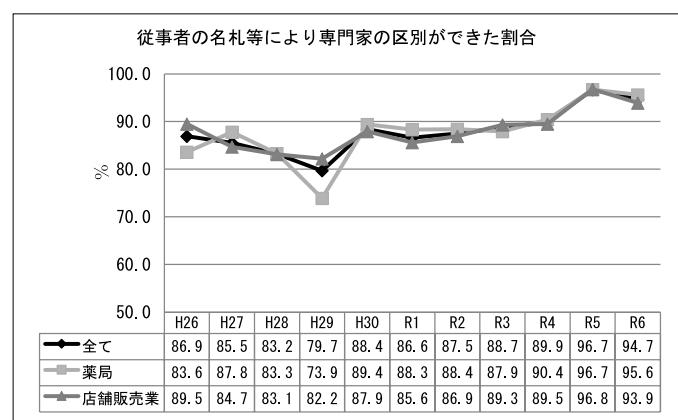
3. 主な調査結果 (小数第2位を四捨五入しており、合計が100%とならない場合があります)

(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

① 従事者の名札等により専門家の区別ができたか :

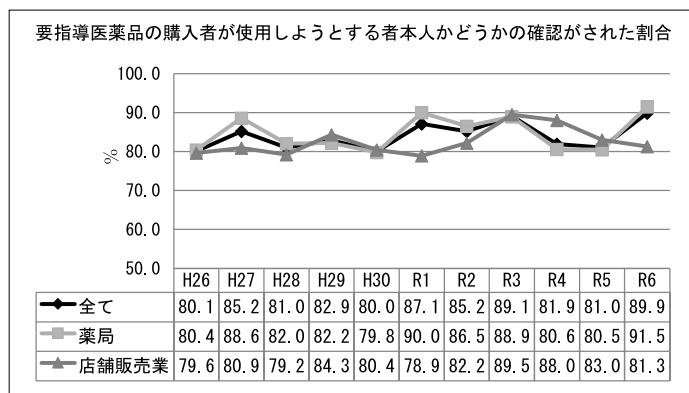
調査件数3,028件 (薬局1,355件 店舗販売業1,673件)

区別できた 94.7%(2,867件) / 区別できなかった等 5.3%(161件)



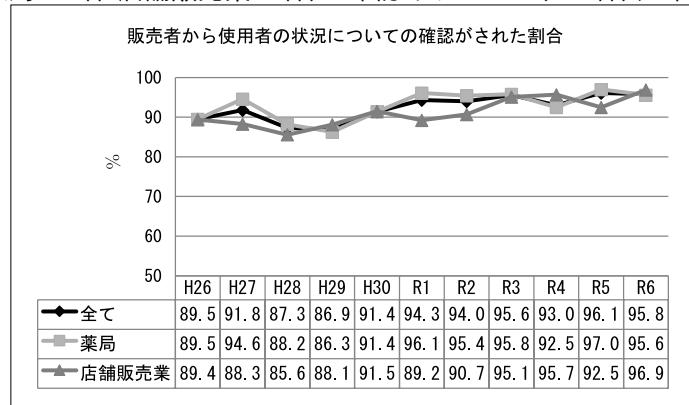
② 要指導医薬品の購入者が使用しようとする者本人かどうかの確認 :

調査件数404件 (薬局340件 店舗販売業64件) 確認あり 89.9%(363件) / 確認なし 10.1%(41件)



③ 要指導医薬品販売時における使用者の状況 (*) についての確認 :

調査件数404件 (薬局340件 店舗販売業64件) 確認あり 95.8%(387件) / 確認なし 4.2%(17件)

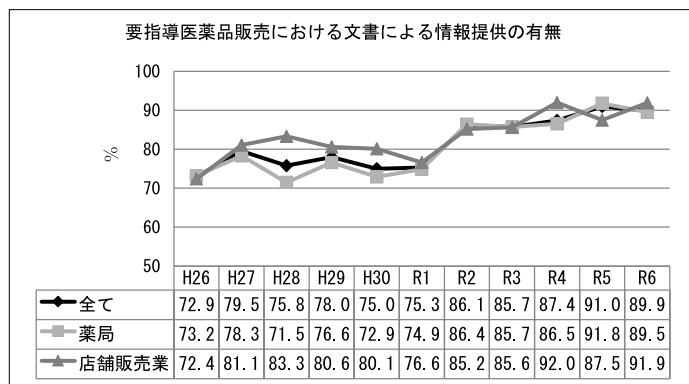


*年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

④ 要指導医薬品販売における文書による情報提供の有無 :

調査件数395件 (薬局333件 店舗販売業62件)

文書を用いて情報提供があった 89.9% (355件) / 文書を渡されたが詳細な説明がなかった 0.5% (2件) / 口頭のみでの説明だった 9.6% (38件)

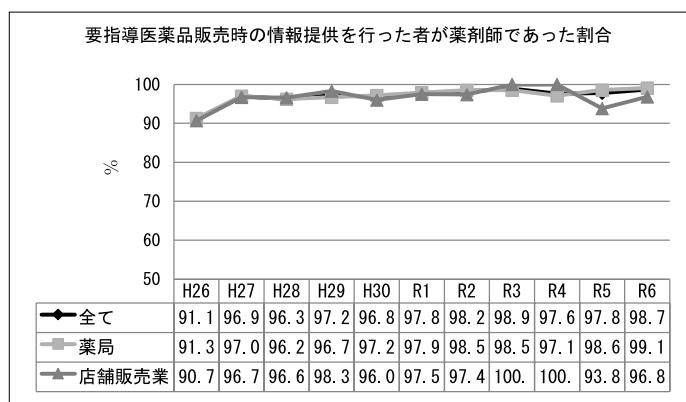


※情報提供があった店舗 (令和6年度395件 (97.8%)) のうち、文書を用いて情報提供があった等の数値

⑤ 要指導医薬品販売時の情報提供を行った者：

調査件数395件 (薬局333件 店舗販売業62件)

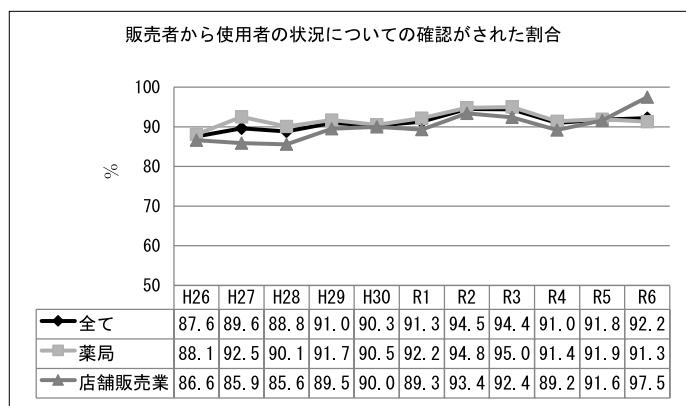
薬剤師 98.7% (390件) / 登録販売者 0.8% (3件) / 一般従事者 0.5% (2件)



※情報提供があった店舗 (令和6年度395件 (97.8%)) のうち情報提供を行った者の数値

⑥ 第1類医薬品販売時における使用者の状況 (*)についての確認：

調査件数820件 (薬局702件 店舗販売業118件) 確認あり 92.2% (756件) / 確認なし 7.8% (64件)

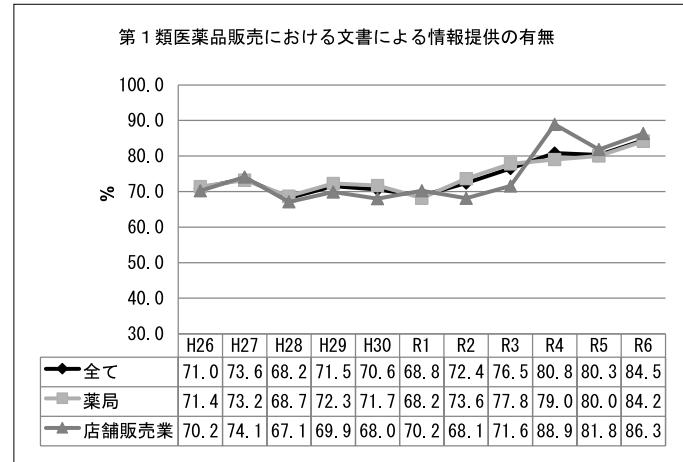


*年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

⑦ 第1類医薬品販売における文書による情報提供の有無：

調査件数795件 (薬局678件 店舗販売業117件)

文書を用いて情報提供があった 84.5% (672件) / 文書を渡されたが詳細な説明がなかった 0.6% (5件) / 口頭のみでの説明だった 14.8% (118件)

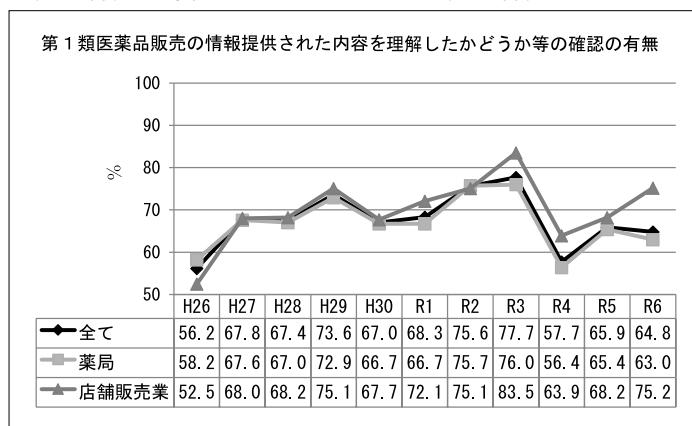


※情報提供があった店舗 (令和6年度795件 (97.0%)) のうち、文書を用いて情報提供があった等の数値

⑧ 第1類医薬品販売の情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無：

調査件数795件 (薬局678件 店舗販売業117件)

確認があった 64.8% (515件) / 確認がなかった 35.2% (280件)

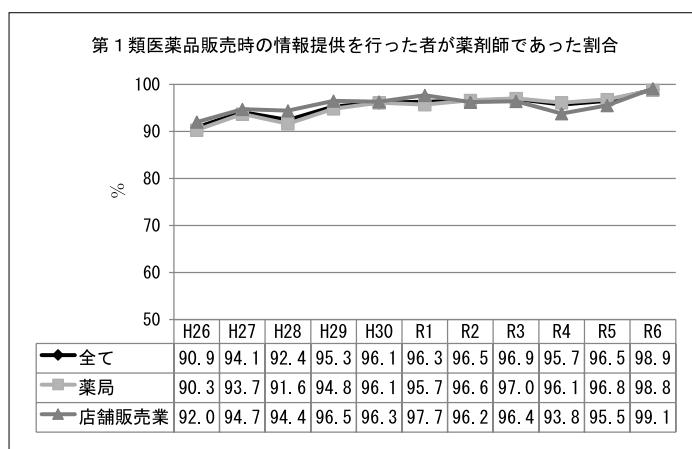


※情報提供があった店舗（令和6年度795件（97.0%））のうち、情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無の数値

⑨ ⑦の情報提供を行った者：

調査件数795件 (薬局678件 店舗販売業117件)

薬剤師 98.9% (786件) / 登録販売者 0.3% (2件) / 一般従事者 0.0% (0件) / わからなかった 0.9% (7件)

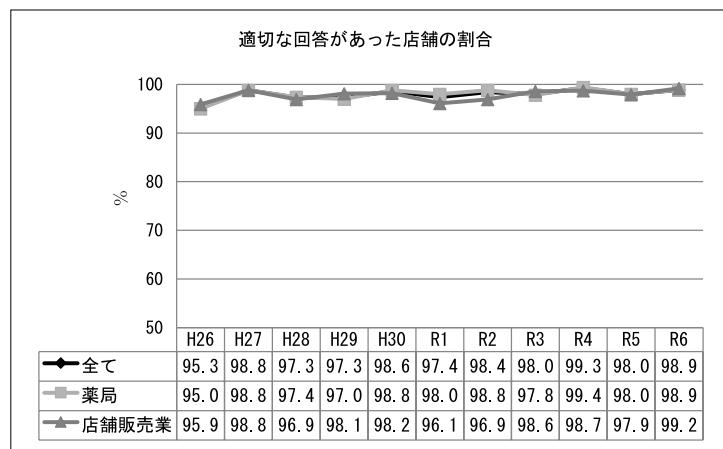


※情報提供があった店舗（令和6年度795件（97.0%））のうち、情報提供を行った者の数値

⑩ 第1類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか（*）：

調査件数820件 (薬局702件 店舗販売業118件)

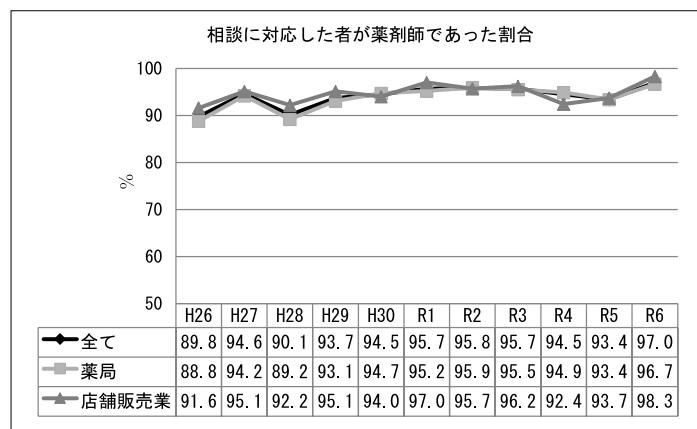
適切な回答があった 98.9% (811件) / 適切な回答がなかった 1.1% (9件)



⑪ ⑩の相談に対応した者の資格 :

調査件数820 件 (薬局702 件 店舗販売業118 件)

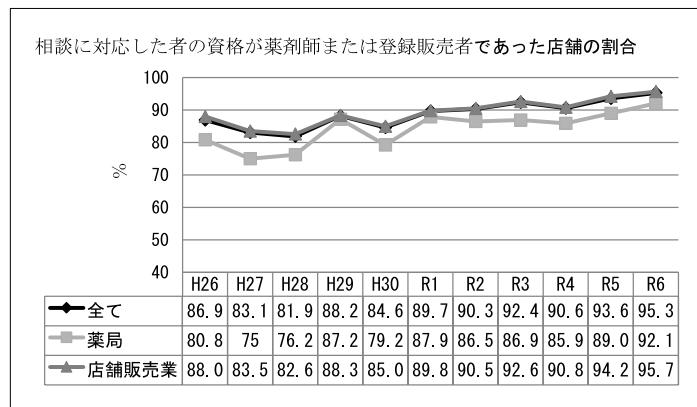
薬剤師 97.0% (795件) / 登録販売者 2.0% (16件) / 一般従事者 0.2% (2件) / わからなかった 0.9% (7件)



⑫ 第2類医薬品等に関する相談に対応した者の資格

調査件数1,455 件 (薬局203 件 店舗販売業1,252 件)

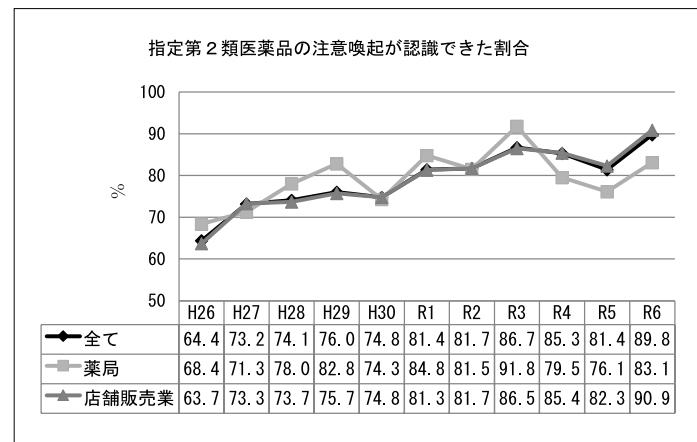
薬剤師 7.7%(112 件) / 登録販売者 87.6%(1,274 件) / 一般従事者 2.5%(36 件) / わからなかった 2.3%(33 件)



⑬ 指定第2類医薬品の注意喚起 (*) の状況 :

調査件数1,562 件 (薬局219 件 店舗販売業1,343 件)

認識できた 89.8%(1,403 件) / 認識できなかった 10.2%(159 件)

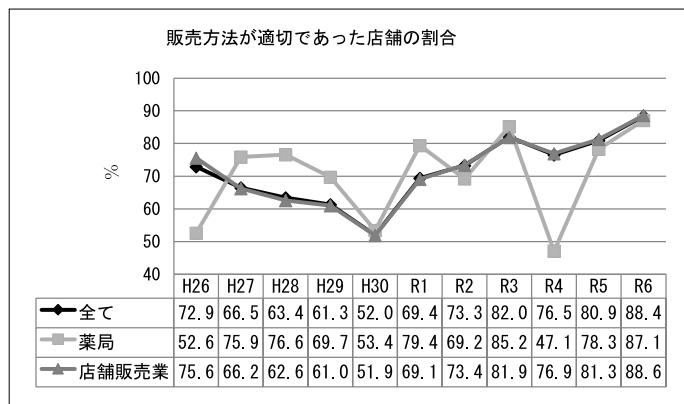


* 「禁忌を確認すること」、「薬剤師または登録販売者に相談すること」を勧める旨

(14) 濫用等のおそれのある医薬品 (*1) を複数購入しようとした時の対応 (*2) :

調査件数1,519件 (薬局202件 店舗販売業1,317件)

1つしか購入できなかつた 43.7%(664件) / 複数必要な理由を伝えたところ、購入できた 44.7%(679件) / 質問等されずに購入できた 11.6%(176件)



* 1 エフェドリン／コデイン／ジヒドロコデイン／プロモバレリル尿素／プソイドエフェドリン／メチルエフェドリンを成分として含有する医薬品。

* 2 「1つしか購入できなかつた」、「複数必要な理由を伝えたところ、購入できた」を販売方法が適切であったとした。

(15) 相談を行わずに一般用医薬品（第1類医薬品を除く。）を購入しようとした際の対応：

調査件数349件 (薬局110件 店舗販売業239件)

対応状況	薬局 (110件)	店舗販売業 (239件)	計 (349件)
1 薬剤師・登録販売者がレジ対応をした	91(82.7)	190(79.5)	281(80.5)
2 会計等は薬剤師・登録販売者以外が対応したが、情報提供や相談は薬剤師・登録販売者が行った	14(12.7)	28(11.7)	42(12.0)
3 医薬品購入前に薬剤師・登録販売者から声をかけられた	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
4 レジで薬剤師または登録販売者に相談してから会計をするよう言われた	0(0.0)	2(0.8)	2(0.6)
5 薬剤師・登録販売者の説明が必要か聞かれ「必要ない」と答えるとそのまま売ってくれた	1(0.9)	0(0.0)	1(0.3)
6 質問等されずに医薬品を購入できた	4(3.6)	16(6.7)	20(5.7)
7 その他	0(0.0)	3(1.3)	3(0.9)

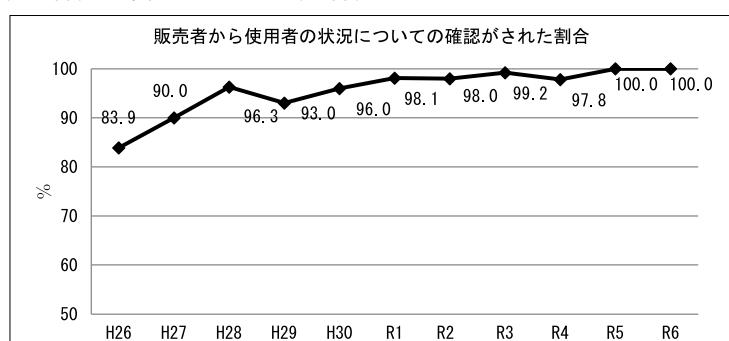
※ 2～7については、薬剤師・登録販売者以外がレジ対応した場合の対応状況となっている。

(2) 特定販売（インターネット販売）に関する調査

(1) 第1類医薬品販売時の使用者の状況 (*) についての確認状況：

調査件数70件 (薬局25件 店舗販売業45件)

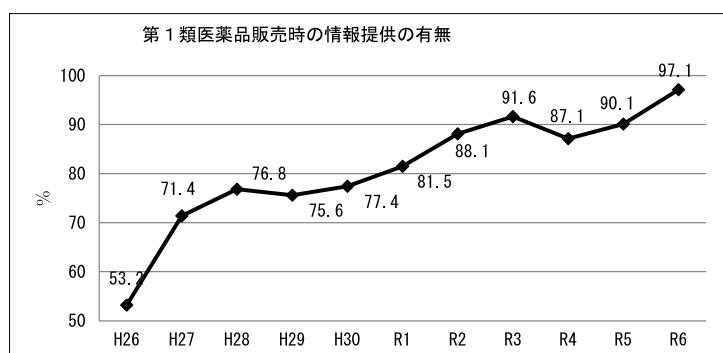
確認あり 100.0%(70件) / 確認なし 0.0%(0件)



* 年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

② 第1類医薬品販売時の情報提供の有無（*）：

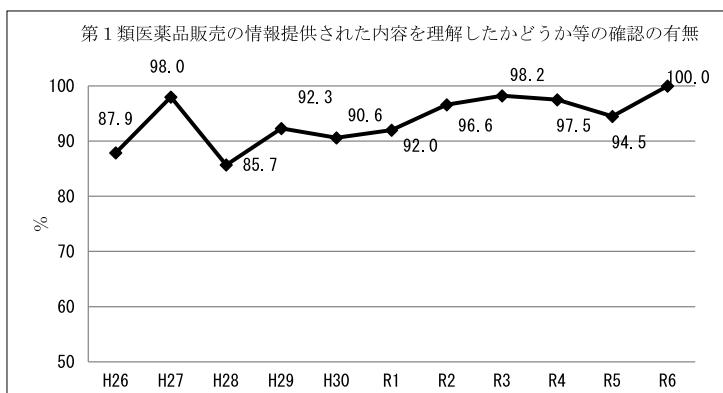
調査件数70件（薬局25件 店舗販売業45件） 情報提供あり 97.1% (68件) / 情報提供なし 2.9% (2件)



* 購入者が購入前に確認する必要等の有無にかかわらず、Webサイトに情報が掲載されていた場合に情報提供ありとしている。

③ 第1類医薬品販売の情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無：

調査件数68件（薬局24件 店舗販売業44件） 確認があつた 100.0% (68件) / 確認がなかつた 0.0% (0件)

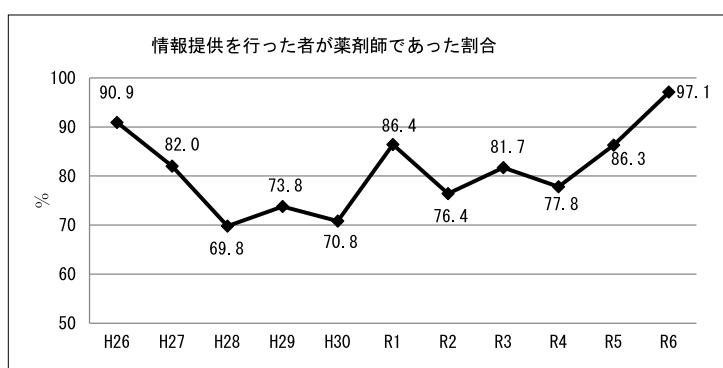


※情報提供があつたウェブサイト（令和6年度68件（97.1%））のうち、情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無の数値

④ ②の情報提供を行つた者の資格：

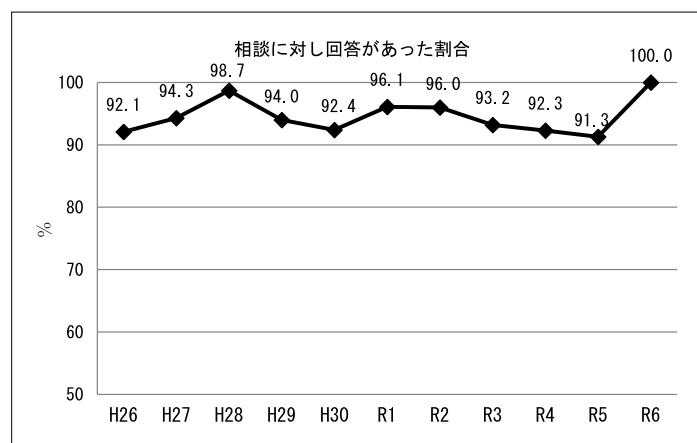
調査件数68件（薬局24件 店舗販売業44件）

薬剤師 97.1% (66件) / 登録販売者 1.5% (1件) / わからなかつた 1.5% (1件)



⑤ 第1類医薬品販売時の相談に対し回答があったかどうか :

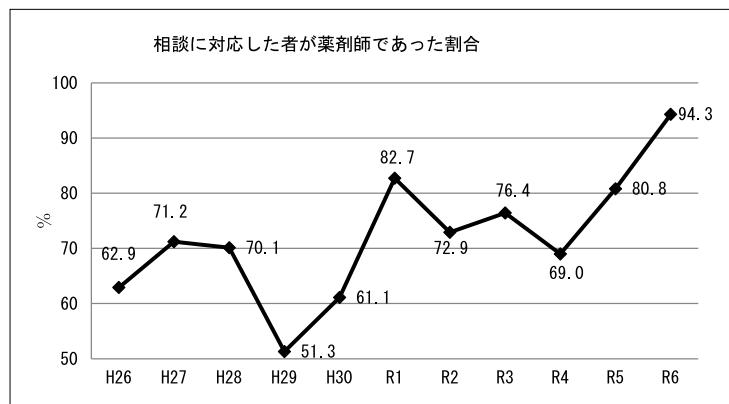
調査件数70件 (薬局25件 店舗販売業45件) 回答あり 100.0% (70件) / 回答なし 0.0% (0件)



⑥ ⑤の相談に対応した者の資格 :

調査件数 : 70件 (薬局25件 店舗販売業45件)

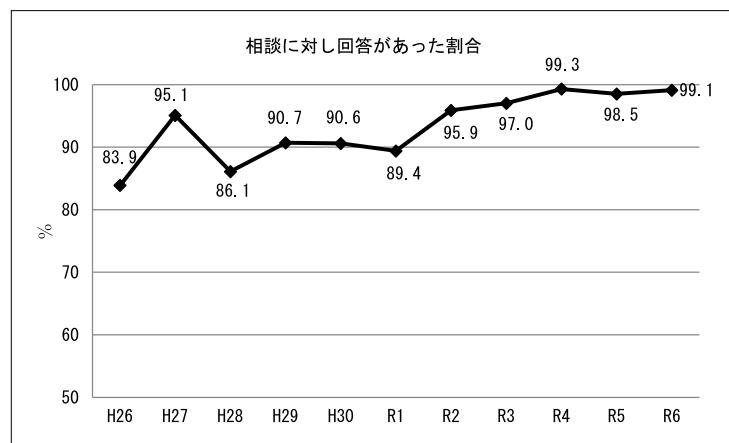
薬剤師 94.3% (66件) / 登録販売者 1.4% (1件) / わからなかつた 4.3% (3件)



⑦ 第2類医薬品等に関する相談に対し回答があったかどうか :

調査件数330件 (薬局87件 店舗販売業243件)

回答あり 99.1% (327件) / 回答なし 0.9% (3件)

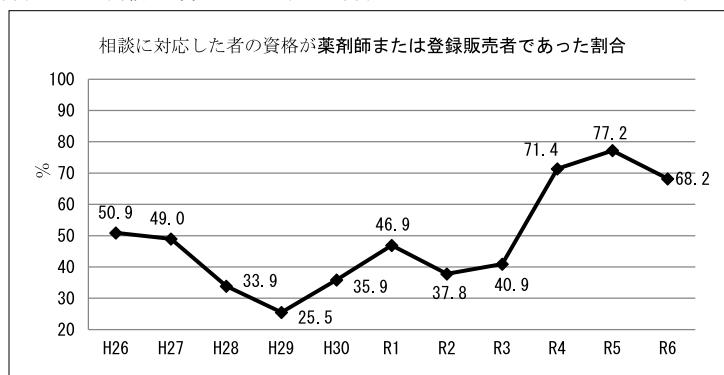


※相談に対し返信があった割合

⑧ ⑦の相談に対応した者の資格 :

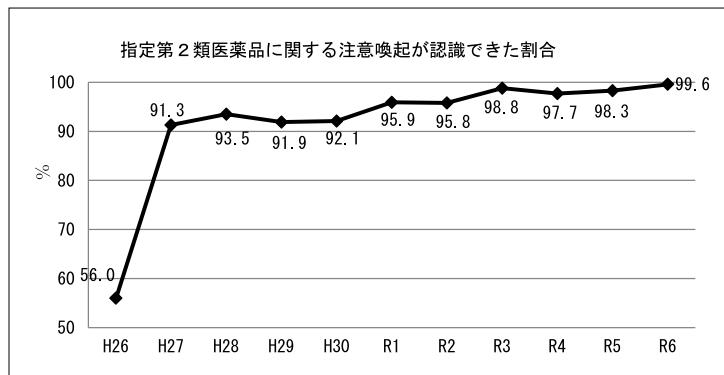
調査件数327件 (薬局87件 店舗販売業240件)

薬剤師 24.2%(79件) / 登録販売者 44.0%(144件) / わからなかつた 31.8%(104件)



⑨ 指定第2類医薬品に関する注意喚起 (*) の状況 :

調査件数225件 (薬局52件 店舗販売業173件) 認識できた 99.6%(224件) / 認識できなかつた 0.4%(1件)

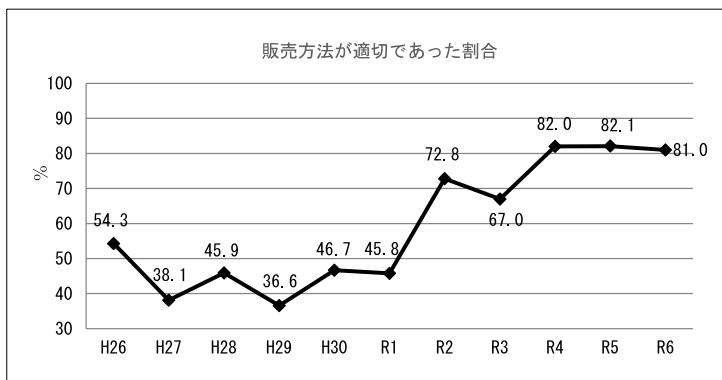


* 「禁忌を確認すること」、「薬剤師または登録販売者に相談すること」を勧める旨

⑩ 濫用等のおそれのある医薬品 (*1) を複数購入しようとした時の対応 (*2) :

調査件数126件 (薬局23件 店舗販売業103件)

1つしか購入できなかつた (*3) 74.6%(94件) / 複数必要な理由を伝えたところ、購入できた 3.2%(4件) / 購入せずに医者を受診するようにすすめられた3.2%(4件) / 質問等されずに購入できた 19.0%(24件)



* 1 エフェドリン／コデイン／ジヒドロコデイン／プロモバレリル尿素／ブソイドエフェドリン／メチルエフェドリンを成分として含有する医薬品。

* 2 「1つしか購入できなかつた」、「複数必要な理由を伝えたところ、購入できた」、「購入せずに医者を受診するようにすすめられた」を販売方法が適切であったとした。

* 3 「1つしか購入できなかつた」際の好事例として、プルダウン等でカートに1つしか入れられない仕様になっていたことが挙げられる。また、一般的に、一定期間は連続して購入が出来ない仕様になっていることも好事例として挙げられる。一方で、対応が適切でなかつたものとして、カートに複数個入れ、特に理由等の確認もなく購入手続きが完了し、実際に複数個医薬品が届いた事例が挙げられる。

7月

2水○令和7年度沖縄県総合防災訓練第1回全体会議 Web 鈴鹿理事

6日○令和7年度新任・新人薬剤師研修会 県薬研修室・Web

7月○令和7年度第4回業務執行理事会 県薬会議室

8火○薬学生実務実習「災害時医療×薬剤師」県薬研修室・Web

9水○令和7年度第1回表彰選考委員会 県薬会議室

10木○沖縄こどもの未来県民会議令和7年度総会 沖縄県市町村自治会館 前濱会長

10木○令和7年度沖縄県学校保健会理事会及び令和7年度学校保健学校安全表彰（文部科学大臣表彰）候補選考審査会 県庁 前濱会長

10木○令和7年度第1回広報委員会 県薬会議室

12土○令和7年度第5回理事会 県薬研修室

14月○沖縄県国保ヘルスアップ支援事業 浦添市訪問浦添市保健相談センター 阿部専務理事、吉田理事

14月○薬学生実務実習「夜間救急医療について」会営薬局医療センター前

14月○沖縄県理学療法士協会令和7年度地域支援事業等市町村支援アドバイザリー事業および多職種連携ケアマネジメント基盤強化促進事業事前打ち合わせ会議 Web 盛本理事

15火○薬学生実務実習「学校薬剤師って何？！」県薬研修室

23水○令和7年度沖縄県警察官友の会理事会・総会 オリオンホテル那覇 村田理事

23水○災害対策小会議 県薬会議室

24木○日本薬剤師会令和7年度第2回都道府県会長協議会 日薬 前濱会長

25金○地域薬学ケア専門薬剤師制度における連携研修マッチングに係る全国説明会 県薬会議室・Web 学術研修委員会：中村副会長、名嘉理事、中尾委員、川上委員、春田委員、大城事務局長

25金○沖縄県国民健康保険団体連合会設立50周年記念式典・祝賀会 沖縄県市町村自治会館 阿部専務理事

25金○健康サポートのための多職種連携研修会（A B研修）県薬ホール

28月○令和7年度第2回九州山口各県薬剤師会代表者会議 福岡県薬剤師会館 前濱会長

28月○薬学生実務実習「夜間救急医療について」会営薬局医療センター前

28月○令和7年度第2回会営薬局委員会小委員会 県薬研修室

29火○令和7年度第1回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合 佐藤常務理事

29火○令和7年度第2回くすりと健康フェア打ち合わせ 県薬会議室 沖縄県保健医療介護部 薬務生活衛生課：泉水主幹・米村、浦添市福祉健康部健康づくり課：崎原健康対策係長・比嘉・金城、沖縄県薬剤師会：阿部専務理事・長嶺主任

29火○なごみ会主催県民健康フェア令和7年度第2回実行委員会 県医師会館 松本保健・福祉委員会委員長、長嶺主任

31木○令和7年度那覇市保健医療審議会 那覇市保健所 阿部専務理事

31木○新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 喜屋武理事

31木○なごみ会主催県民健康フェア地元紙表敬訪問 沖縄タイムス社、琉球新報社 松本保健・福祉委員会委員長、長嶺主任

31木○令和7年度第1回那覇市保健医療審議会地域保健感染症分科会 那覇市保健所 阿部専務理事

8月

1 金 ○ 第2回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学西普天間キャンパス 前濱会長

3 日 ○ アンチ・ドーピング講習会（沖縄県歯科医師会） 沖縄県口腔保健医療センター 講師：笠原大吾、黒島新

3 日 ○ 田代浩幸先生（長崎県薬剤師会前会長）を偲ぶ会 長崎サンプリエール 前濱会長

4 月 ○ 令和7年度第5回業務執行理事会 県薬会議室

5 火 ○ 令和7年度沖縄県高齢者福祉対策推進協議会 県庁 佐藤常務理事

5 火 ○ 沖縄県理学療法士協会主催令和7年度地域支援事業等市町村支援アドバイザリー事業説明会 Web 盛本理事

6 水 ○ 禁煙サポート事業に係る記者会見 県庁記者クラブ 前濱会長、長嶺主任

7 木 ○ 感染症と自然災害に強い社会をニューレジリエンスフォーラム沖縄県大会 那覇商工会議所 前濱会長、川満副会長、古謝副会長、阿部専務理事、鈴鹿理事、知念理事、盛本理事、喜屋武理事、又吉那覇地区薬剤師会理事、大城事務局長

7 木 ○ 国民スポーツ大会アンチ・ドーピング 教育義務化に係るアンチ・ドーピング研修会 沖縄県体協スポーツ会館 吉田理事

7 木 ○ 令和7年度第7回九州JPLブロック会議 Web 与儀総務 事務局：金城

8 金 ○ 第88回国民スポーツ大会・第33回全国障害者スポーツ大会沖縄準備委員会 沖縄県立武道館 阿部専務理事

8 金 ○ 令和7年度沖縄県公務員薬剤師会総会懇親会 バルコラボ県庁前店 前濱会長、中村副会長、川満副会長、古謝副会長、阿部専務理事、大城事務局長、玉寄課長

9 土 ○ 令和7年度第6回理事会 県薬研修室

13水 ○ 令和7年度沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議総会 沖縄科学技術大学院大学（OIST） 佐藤常務理事

13水 ○ 令和7年度第2回医療保険委員会 県薬会議室

16土 ○ 那覇市女性ネットワーク会議～あけもどろ女性の会～ 那覇市女性センター 前濱会長

17日 ○ **なごみ会主催第12回県民健康フェア** 沖縄コンベンションセンター

19火 ○ 令和7年度第Ⅲ期薬学生実務実習オリエンテーション 県薬ホール

19火 ○ 新規薬局立入検査 会営薬局医療センター前 前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長
会営薬局医療センター前：白坂・與世平・當山・古市

19火 ○ 薬学部設置に関する喜納琉球大学学長への協力要請訪問に係る事前説明 沖縄県歯科医師会会館・沖縄県看護協会会館 前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長 沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課：中村薬務専門監、泉水主幹

24日 ○ 令和7年度調剤報酬請求業務、個別指導指摘事項に関する講習会 かでな文化センター

26火 ○ 沖縄県医療提供体制協議会「新興感染症等医療部会」 沖縄県市町村自治会館 姫野常務理事

26火 ○ 県内国公立大学への薬学部設置に係る喜納琉球大学学長への協力依頼訪問に係る事前説明 沖縄県医師会会館 前濱会長、阿部専務理事、沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課：中村薬務専門監、泉水主幹、大城事務局長

29金 ○ 令和7年度第1回青年薬剤師部会役員会 県薬会議室

31日 ○ **第15回熟年の集い** ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城首里の間

9月

1月 ○ 株式会社ファルモ在庫システム打ち合わせ（地域医薬品提供体制構築推進事業） 県薬会議室 前濱会長、阿部専務理事、喜友名常務理事、事務局：大城事務局長・比嘉

1月 ○ 令和7年度第2回沖縄県保険者協議会 沖縄県市町村自治会館 阿部専務理事

2火 ○ 令和7年度第2回災害対策委員会 県薬会議室

5金 ○ 令和7年度日本薬剤師会生涯学習担当者全国会議 県薬会議室・Web 学術研修委員会：中尾委員長、阿部専務理事、安次富委員、地域医薬品提供体制対策委員会：盛本理事、事務局：金城・川平

8月 ○ 令和7年度第1回沖縄県薬業連合会代表者会議 県薬会議室

8月 ○ 令和7年度第1回保健福祉委員会 県薬研修室

8月 ○ 令和7年度第1回在宅医療推進委員会 県薬会議室・Web

9火 ○ 令和7年度第3回会営薬局委員会 県薬会議室

11木 ○ 新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 川満副会長

11木 ○ 令和7年度沖縄県総合防災訓練医療部会 県庁・Web 知念理事、長嶺主任

11木 ○ 沖縄県医療審議会法人部会・地域医療支援病院部会 県庁 前濱会長

13土 ○ 第84回九州山口薬学大会前各種協議会 HOTELグランデはがくれ

13土 ○ 在宅医療推進協議会 在宅医療推進委員会：喜友名常務理事、石田委員

13土 ○ 災害対策協議会 災害対策委員会：姫野常務理事、知念理事、鈴鹿理事

13土 ○ 九州山口薬剤師会事務職員協議会 事務局：大城事務局長・比嘉

13土 ○ 学校薬剤師協議会運営委員会 前濱会長、学校薬剤師部会：新垣部会長、知名常務理事

13土 ○ 医療安全対策連絡協議会 薬事情報委員会：吉田理事、中尾委員長、白坂委員

13土 ○ 医療保険協議会 医療保険委員会：川満副会長、宮城常務理事

13土 ○ 九州山口薬学会運営委員会 中村副会長

13土 ○ 九州山口若手薬剤師連絡協議会 青年薬剤師部会：喜友名常務理事、石井副部会長

13土 ○ 試験検査センター運営連絡協議会 前濱会長、試験検査センター委員会：知名常務理事、小泉試験検査センター長代理、飯塚委員

13土 ○ 薬剤師生涯学習担当者会議 学術研修委員会：阿部専務理事、中尾委員長

13土 ○ 病院薬局協議会委員会 中村副会長

13土 ○ 大会運営委員会 前濱会長、中村副会長、川満副会長、阿部専務理事、宮城常務理事

13土 ○ 第2回病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構総会 中村副会長

13土 ○ 令和7年度第2回九州・山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関運営委員会 佐藤常務理事

14日 ○ 第84回九州山口薬学大会 佐賀市文化会館（15日まで）

15月 ○ 一般演題5（口頭発表）座長：中尾滋久（学術研修委員会委員長）

15月 ○ シンポジウム5「多様な子供たちの心と身体を守るために」シンポジスト：長瀬涼（学校薬剤師部会）

15月 ○ シンポジウム4「若い女性の健康の悩みをより理解・支援するために～多様性の時代に求められる薬剤師の役割～」座長：前濱会長、シンポジスト：草壁瑞恵（女性薬剤師部会長）

18木 ○ 令和7年度日本薬剤師会健康サポート薬局全国会議 県薬会議室・Web 盛本理事、事務局：比嘉

19金 ○ 全国薬剤師研修協議会実務担当者会議 ベルサール八重洲 中尾滋久学術研修委員会委員長、事務局：金城

21日 ○ 令和7年度第1回地区薬剤師会会长会議 県薬研修室

24水 ○ 令和7年度第2回学術研修委員会 県薬研修室

24水 ○ 令和7年度沖縄県総合防災訓練に係る打ち合わせ 県薬会議室 姫野常務理事、知念理事、鈴鹿理事、長嶺主任

25木 ○ くすりと健康フェアPR（FM沖縄 人間大好きリレージョッキー収録）株式会社薬正堂 本社 村田理事、喜屋武理事、長嶺主任

27土 ○ 第79回国民スポーツ大会（～30日）滋賀県 吉田理事

27土 ○ おもと天久の杜ANNEX落成記念式典・内覧会 おもと天久の杜ANNEX Auditorium0（おもと天久の杜）阿部専務理事

28日 ○ 女性薬剤師部会研修会「小児の食物アレルギー・アトピー性皮膚炎」 県薬研修室 講師：崎原徹裕氏（社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院小児科部長）

29月 ○ くすりと健康フェア周知に係る地元紙表敬訪問 沖縄タイムス社、琉球新報社 阿部専務理事、沖縄県薬務生活衛生課：米村、事務局：大城事務局長・川平

29月 ○ 令和7年度第6回業務執行理事会 県薬会議室

沖縄県薬剤師連盟

7月

2水 ○ 令和7年度日本薬剤連盟都道府県実務担当者会議 A P 日本橋 石川幹事長、長嶺主任（3日まで）

2水 ○ おくま亮必勝総決起大会 那覇文化芸術劇場なはーと 前濱会長、阿部常任総務、吉田久子相談役、事務局：大城事務局長・玉寄課長・上原主任・金城・平安山・比嘉・川平・荒殿

3木 ○ 本田あきこ街宣車出発式決起集会 県薬駐車場 前濱会長、阿部専務理事、全職員

6日 ○ おくま亮街頭演説会 県民広場前 阿部常任総務、大城事務局長

9水 ○ おくま亮真和志地域時局報告会 JA真和志支店 吉田久子相談役

11金 ○ 本田あきこ個人演説会（医薬品卸会社訪問）株式会社アトル沖縄営業部 前濱会長、石川幹事長、奥間亮候補者、大城事務局長

14月 ○ 本田あきこ個人演説会（医薬品卸会社訪問）株式会社スズケン沖縄薬品 前濱会長、石川幹事長、古謝副会長、大城事務局長

15火 ○ 本田あきこ個人演説会（医薬品卸会社訪問）株式会社琉薬前濱会長、石川幹事長、大城事務局長

17木 ○ 本田あきこ個人演説会（医薬品卸会社訪問）株式会社ダイコー沖縄 前濱会長、石川幹事長、古謝副会長、大城事務局長

17木 ○ おくま亮を支える企業有志の会 自由民主党沖縄支部連合会 前濱会長、阿部常任総務、大城事務局長

18金 ○ 本田あきこ個人演説会（医薬品卸会社訪問）沖縄東邦株式会社、前濱会長、石川幹事長、古謝副会長、大城事務局長

19土 ○ おくま亮参院選打上式 那覇メインプレイス前交差点

8月

24日 ○自由民主党沖縄県支部連合会総務会 中小企業振興会館 阿部常任総務
27水 ○古謝玄太第11回元気会 パシフィックホテル沖縄 前濱会長

9月

20土 ○島尻あい子と明日の沖縄を語る会 リザンシーパークホテル谷茶ベイ 前濱会長
25木 ○令和7年度日本薬剤師連盟臨時評議員会 AP日本橋 前濱会長
29月 ○自由民主党総裁候補茂木敏充と地元経済界との意見交換会 浦添市産業振興センター 前濱会長

ぶれいく
たいむ

会員の投稿が掲載されました



浦島太郎な父

大城尚美(56)

つい最近の出来事。父と弟と一緒に近くのショッピングセンターへ出かけた。何十年も前から毎日、仕事に向かいながら通り過ぎていただけの場所。この日初めて来た父は、規模の大きさに驚いていた。「浦島太郎になつてているな」。ボソッとつぶやいた。

エスカレーターで上の階に向かっていた時、すぐ後ろにいたはずの二人の声が聞こえなくなった。振り向くと、そこにはエスカレーターにうまく乗れずに慌てる父と、後ろから必死に支えられる弟の姿があった。やつと乗れたが降りる時もぎこちなかつた。「生命保険に入らないと乗べしない」「今日は命拾いの体験した」と真顔の父。帰りはエレベーターに乗った。「ガラスのエレベーターに乗ったのは初めてだよ」

最近知人から民謡のCDをもらつたらしい。最初は「カセットトape」と言つていて、私からもらった英語のカセットトapeも聞きたいとのこと。カセットapeなんていつあげた?再生テックを売つてある所はあるのか?と悩んだが、念のため弟に聞いたらCDのことであつた。父はきれいな声で歌い三線を弾きこなす。高校卒業後は英語学校にも通つていた。だからきっと出かけるよりも家でゆつたり自分時間を使つすことが癒やしになるんだと思う。早速CDプレーヤーを届けなくちゃ。

指先の運動のためにパソコンにも興味があるらしい。いつかプレゼントしてあげよう。きっとまた浦島太郎な父に会えるから。

(豊見城市、薬剤師)

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

編 集 後 記

日本薬剤師会学術大会（於京都）に参加した。知人が分科会で講演するのでまずはそれを目当てに。まだ時間があるので会場を歩き回っていると、その知人にはばったり遭遇。この偶然に感激！カフェでお互いの近況報告をしていると、めまぐるしい環境の変化に一喜一憂。さらに驚いたことに、沖縄県薬より依頼があり来年2月に講演する予定だという。彼女の相変わらずの活躍ぶりにエールを送る。その後も、以前お世話になった先生方にごあいさつすることができ、まるで懇親会状態（苦笑） 「狂言に描かれる医療と笑い」「華道と生薬」「薬局ロボット導入」「薬育ラボ」など興味深い内容にワクワクが止まらない。

学会には「めぐりあわせ」や「縁」というものがある。講演などで得た情報や知識は言うまでもないが「人」との出会いは大切な「宝物」だ。 (クララ)

平成8年（1996年）11月に沖縄県薬剤師会創立70周年記念式典を開催しているので、来年、令和8年（2026年）にはなんと創立100周年を迎える。

30年前の一番のトピックスはなんと言っても「院外処方箋発行」だろう。琉球大学付属病院、豊見城中央病院の院外処方箋発行、それに伴い会営薬局の「うえはら」・「とよみ」の開局。その後各地区の中核となる県立病院等の院外処方箋発行と面分業推進、私達がこれまで経験したことの無い事態の進展に我ら中部地区でも皆熱く燃えていた。

あれから30年、我々を取り巻く状況は大きく変化している。薬剤師会の屋台骨を支え、薬剤師会館建設にも寄与した会営薬局は、琉大病院・豊見城中央病院の新築・移転に伴い、一つは廃止、一つは縮小を余儀なくされた。これからも変化は続くだろう。それでも知恵を出し合い、力を合わせて医療の世界の中で薬剤師の果たす役割をしっかりと担っていかなければならない。(ピアナ)

以前の編集後記で観葉植物にハマっているとお話ししたが、みなさまは塊根植物（コーデックス）をご存じだろうか？乾燥した地域に自生する、水分や栄養分を蓄えるために根や茎が肥大化した植物の総称である。その種類によって丸々としていたり棘があつたりゴツゴツしていたり、その独特なフォルムが魅力的な植物である。その中でも今人気があるのがパキポディウム・グラキリスという植物である。その丸々と膨らんだ幹が何とも愛くるしく、育て方によって幹をさらに太くすることもできる。このグラキリスは小さい苗で数千円、幹が丸々と太り形状の美しいものだと数十万円から高いもので100万円を超えるものもあるというから驚きである。成長はゆっくりな植物だが、小さい苗を購入して長い年月をかけてじっくり育ててみるのも夢があつて楽しそうである。 (ハンバーグ)

沖縄はまだまだ暑いですが、会員の皆様、体調など崩されてはいませんか。前回に引き続き、現在も体外受精（IVF）に挑戦中の私事をお話しさせてください。IVFとは、体外で卵子と精子を受精させる治療法で、人工授精より専門的です。治療中は、「子供を持つこと」「経済的な負担」、そして「仕事やキャリアとの両立」という課題に日々直面し、悩みは尽きません。その中で、妊娠・出産を考える女性をサポートできる薬剤師になりたいと強く思うようになりました。女性のサポートに関心をお持ちの薬剤師の先生方と、情報交換などで繋がれると大変嬉しく思います。 (アリゴリ)



誌上ギャラリー(裏表紙)について

右上：「夕焼けに負けじと輝く二日月」photo by 平良 博文（アルファ薬局）撮影地：泊北岸

左上：「キャンプ・キンザーの夜」photo by 宮本 直樹（ゆんたく薬局おもろまち店）
撮影地：浦添市屋富祖

中央：photo by 高 たかし 撮影地：豊崎

下：「夕涼み」photo by 伊集 智英（くはら薬局）撮影地：博多

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

新垣 美恵子先生（享年84歳）令和7年9月8日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願ひします。

【連絡先】沖縄県薬剤師会事務局（上原・大城）：098-963-8930



沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kawahira@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-6026

おきなわ薬剤師会報

第329号 令和7年10月23日発行

◇次号は、令和7年12月中旬頃発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・運天芳生・宮本直樹・古謝有沙

久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／下地睦夫

八重山地区通信員／城野智哉 事務局／大城喜仁・川平真央 印刷：株式会社 東洋企画印刷

お知らせ

学会認定薬剤師取得を目指す会員の皆様へ 単位取得に係る受講費および旅費を 助成します！

緩和薬物療法
認定薬剤師
日本
緩和医療薬学会

外来がん治療
認定（専門）薬剤師
日本
臨床腫瘍薬学会

外来抗感染症薬
認定薬剤師
日本
化学療法学会

災害医療認定
薬剤師
日本
災害医学会

腎臓病薬物療法
認定（専門）薬剤師
日本腎臓病薬
物療法学会

感染制御
認定（専門）薬剤師
日本
病院薬剤師会

令和7年度沖縄県地域医療介護 総合確保基金事業補助金

沖縄県薬剤師会では、
上記認定薬剤師取得を目指す会員を対象に
各助成事業を行っています。

当会では、沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金を受け、
高度薬学管理機能を有する薬剤師の育成を目的とした認定薬剤師
育成支援事業を行っています。助成対象者は、当会が定める各学
会の認定（専門）取得を目指す会員です。

助成を希望の会員は、お気軽にお問い合わせください。



補助対象



現地参加時の 旅費 (航空費および宿泊費)

認定単位取得に係る研修会や学術
大会参加時の旅費（往復航空費、
宿泊費）を最大5万円補助しま
す。



Web受講 参加費

研修会や学術大会へのWeb参加
時の受講費用を最大1万円補助しま
す。



現地受講 参加費

研修会や学術大会への現地参加時
の受講費用を最大1万円補助しま
す。

*助成内容の詳細については下記までお問い合わせください。

一般社団法人
沖縄県薬剤師会

所在地：沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10

☎：098-963-8930

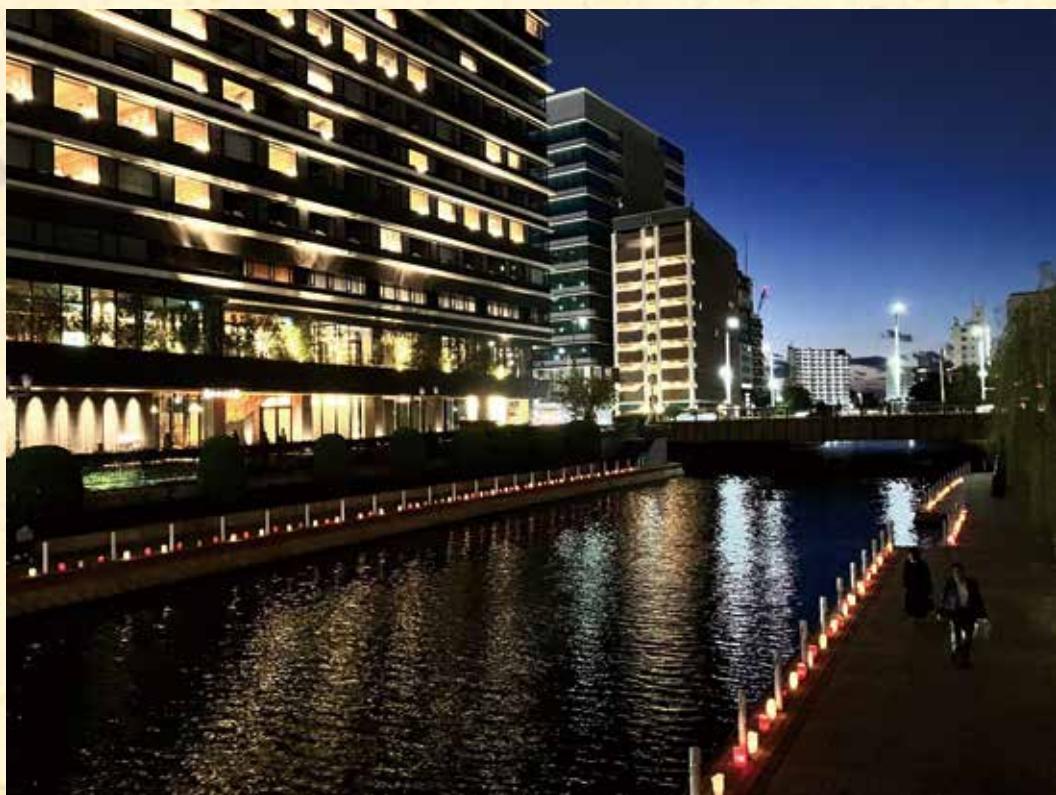
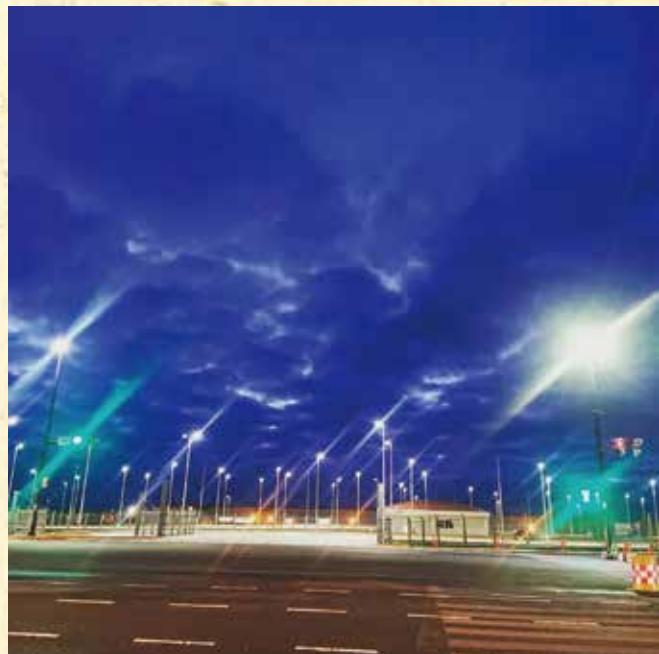
E-mail：study@okiyaku.or.jp

入会をご希望の方は、当会HPより
詳細をご確認ください。

沖縄県薬剤師会 検索

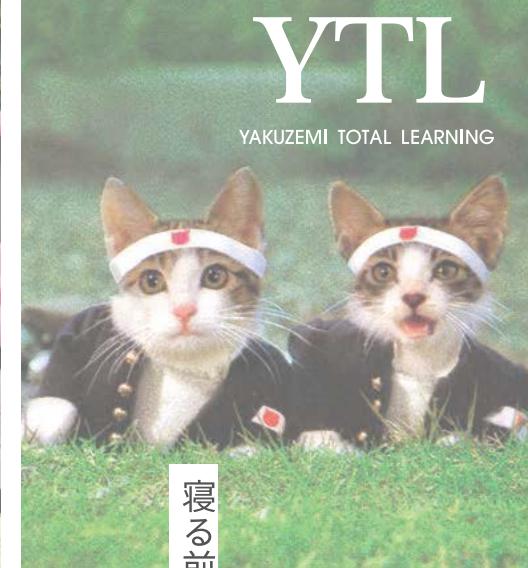


誌上ギャラリー
(会員作品)
お気軽にご投稿下さい。





通勤電車の中で



寝る前のひととき

休憩時間に
少しづつ育児の合間に
家事や

- 講座は最短5分から！単位は即時発行！
- 単位取得忘れ防止のアラート機能付き！
- 取得した単位が一目で分かる！
- 他プロバイダーの単位も
写真を撮るだけで簡単登録！

九州エリア限定
特別割引プランは
こちら！



<https://campaign.tametoko.jp/p/U0dlvETVXfi2>